



2016年2月10日

2016年3月期  
第3四半期 決算説明会

## 免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

本資料中のスプリント・コーポレーション（以下「スプリント」）に関するいかなる記載も、当社がスプリントに対する投資家としての立場から行っているものに過ぎず、スプリントを代理して、又はスプリントのために行われたものではありません。本資料中のスプリントに関するいかなる情報も、スプリント自体が今後行うあらゆる開示に服します。スプリント及び当社はいずれも、スプリントが今後行う開示に関連して、又は今後発生する事象を反映するために、本資料中の情報を更新する義務を負いません。本資料におけるいかなる記載も、スプリントが自ら開示等を行う義務を構成するものとして解釈されてはならないものとしします。

# 連結業績

# 連結業績

(億円)

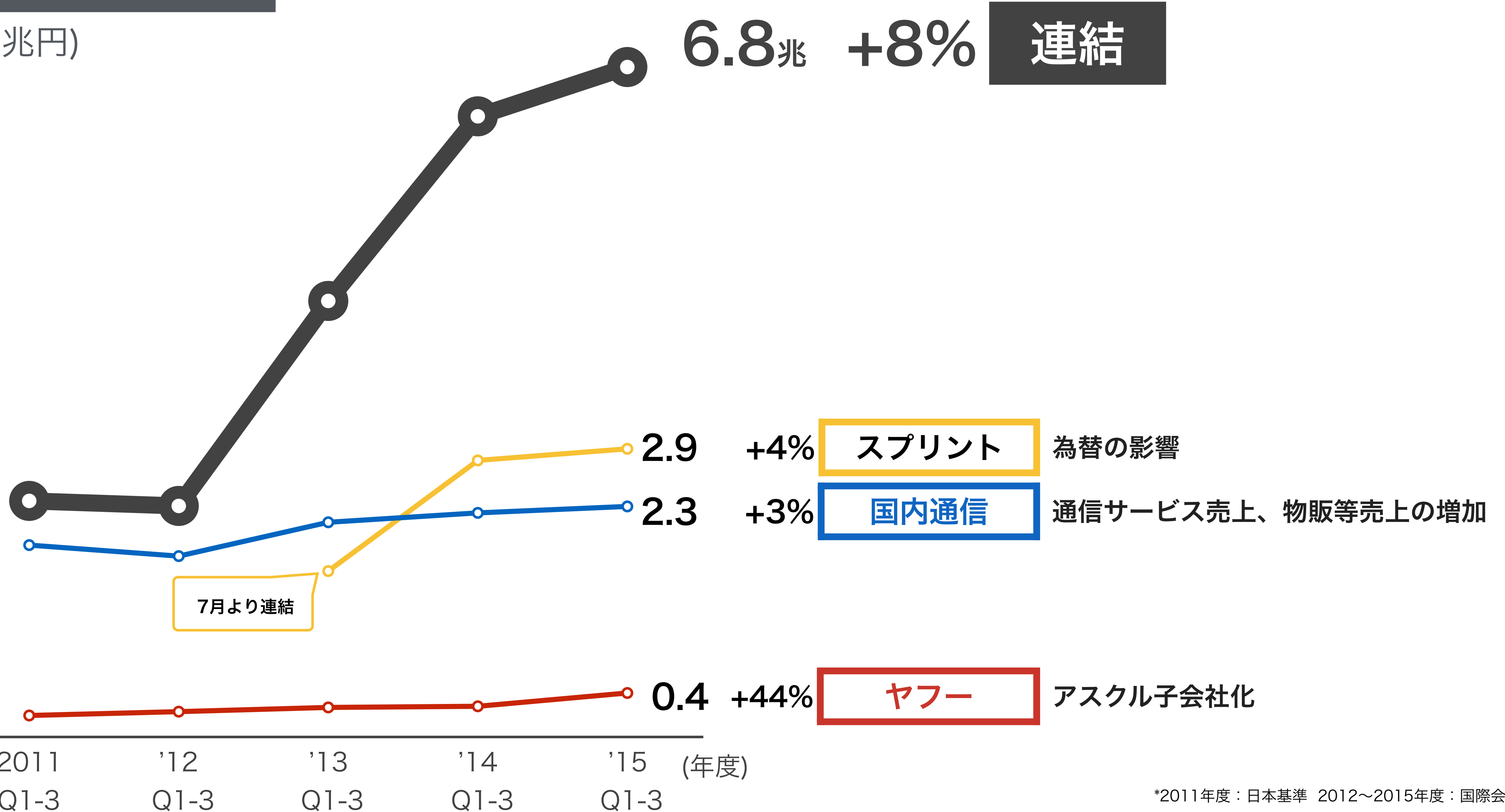
	2014年度 Q1-3	2015年度 Q1-3	増減額	増減率
売上高	63,090	68,102	+5,012	+8%
EBITDA	15,428	19,105	+3,677	+24%
営業利益	7,416	8,753	+1,337	+18%
当期純利益	5,794	4,290	-1,505	-26%
アリババ関連 一時益除く*	3,099	4,290	+1,191	+38%

\* 一時益：アリババに係る持分変動利益影響 + アリババ転換優先株(CPS)のIFRS調整

(注) ガンホーによる損益は非継続事業からの純損益に分類(2014年度、2015年4月1日～6月1日まで)  
当期純利益：親会社の所有者に帰属する純利益

# 売上高

(兆円)

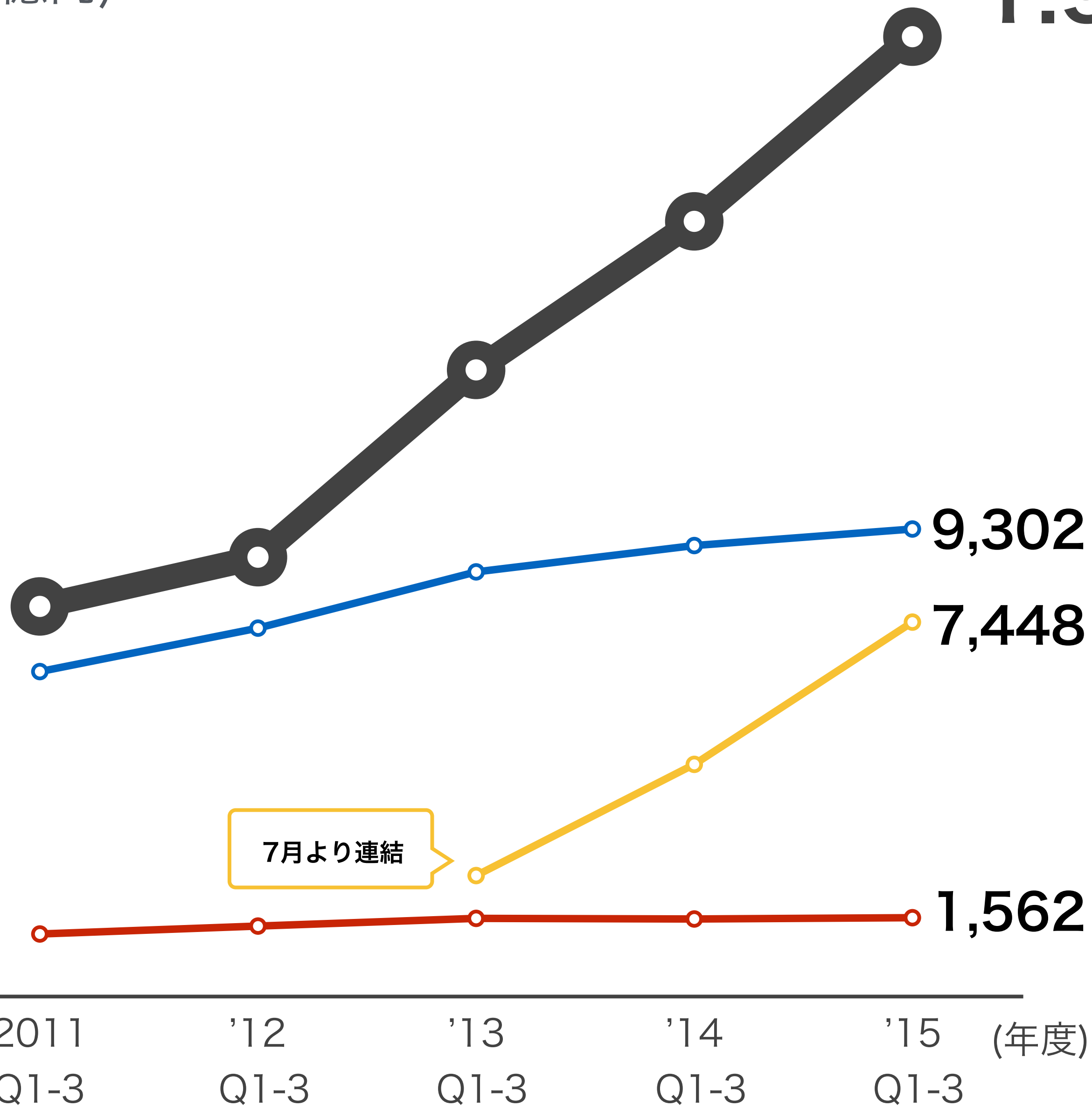


# EBITDA

(億円)

1.9兆 +24%

連結



+4%

国内通信

+61%

スプリント

為替の影響 & コスト削減

+2%

ヤフー

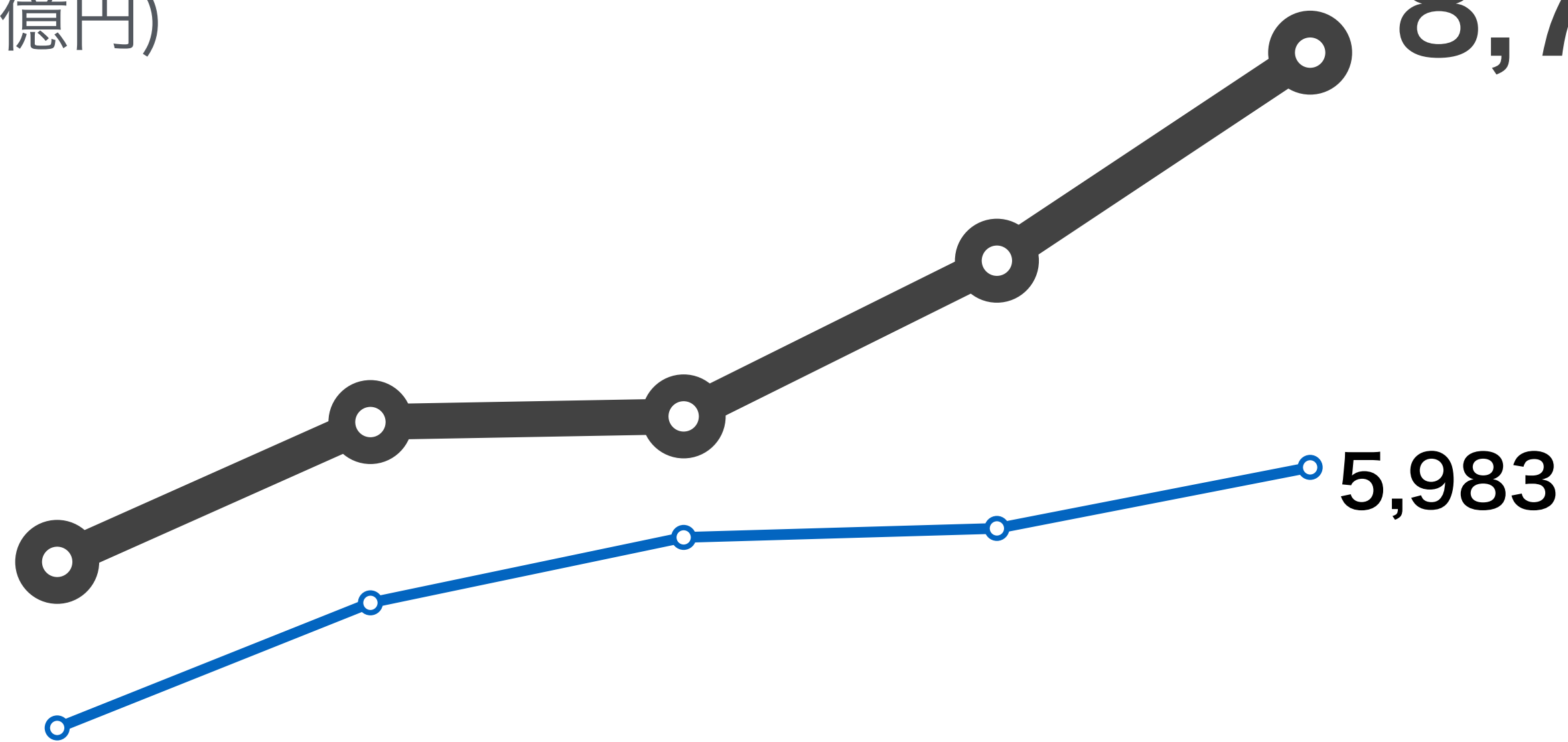
\*2011年度：日本基準 2012～2015年度：国際会計基準

# 営業利益

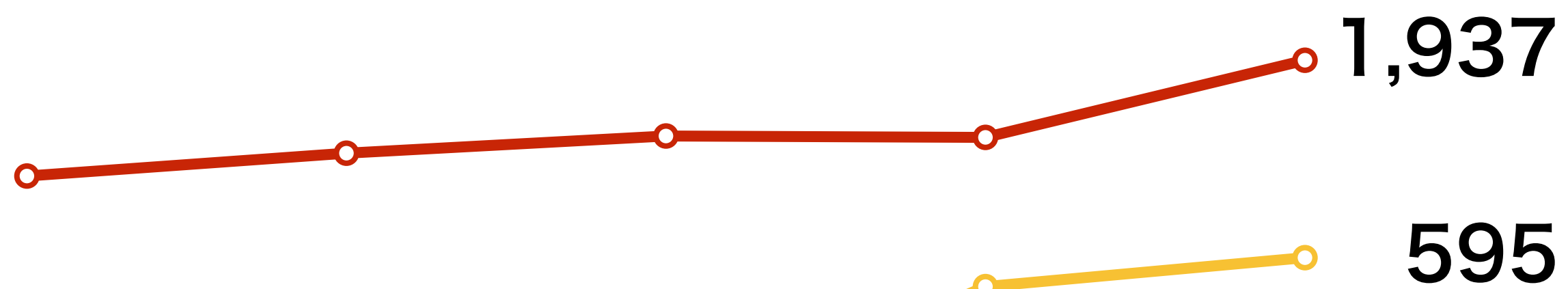
(億円)

8,753 +18%

連結



+8% 国内通信



+37% ヤフー

アスクル子会社化に伴う一時益 (+594億)

+49% スプリント

7月より連結

2011 Q1-3 '12 Q1-3 '13 Q1-3 '14 Q1-3 '15 Q1-3 (年度)

\*2011年度：日本基準 2012～2015年度：国際会計基準

# ポートフォリオ

事業資産

投資資産



# ポートフォリオ

事業資産

ソフトバンク  
国内通信事業

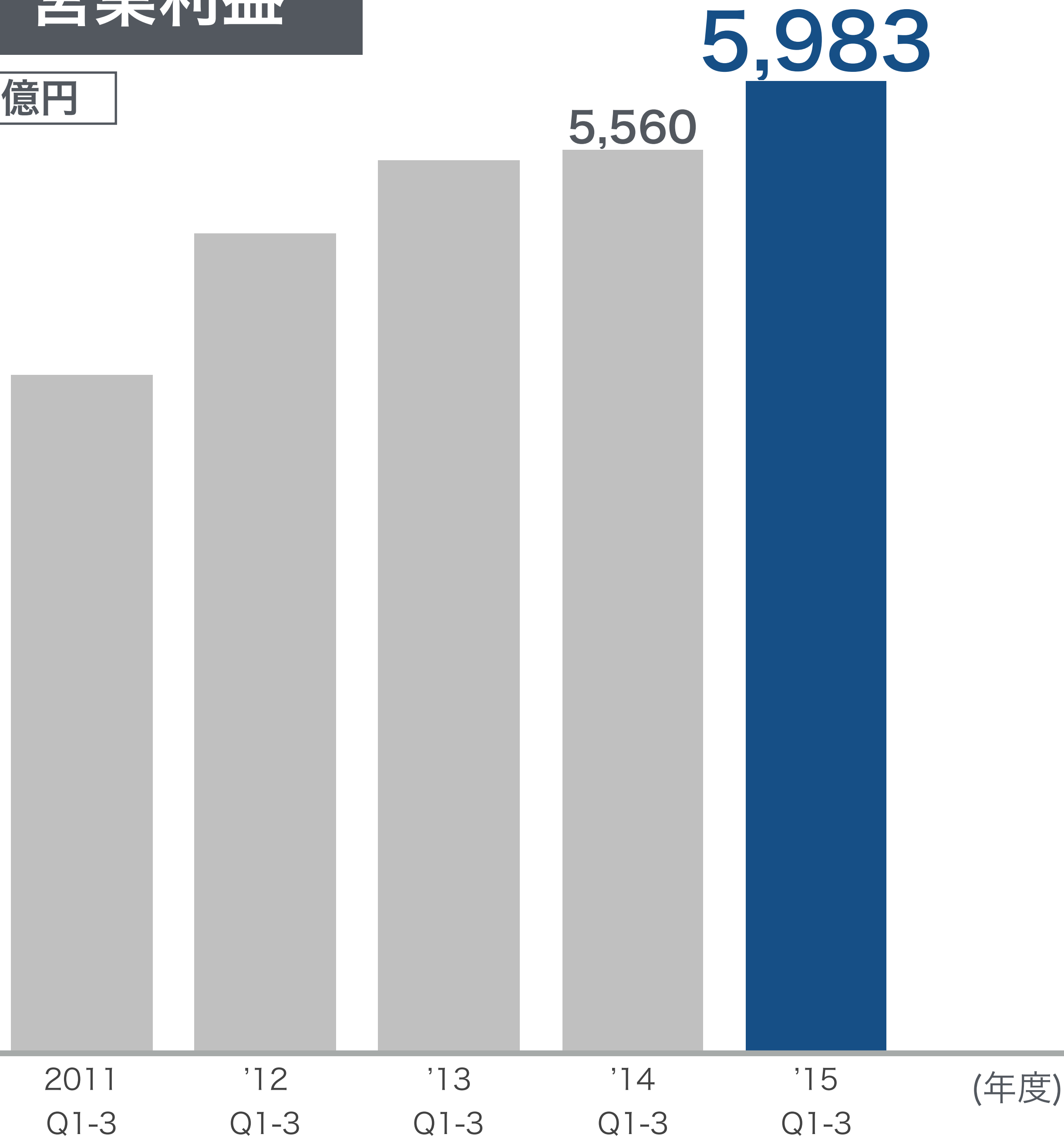
スプリント

ヤフー

その他

# 営業利益

億円



- 前期比8%増
- 売上は安定推移
- コスト削減が奏功

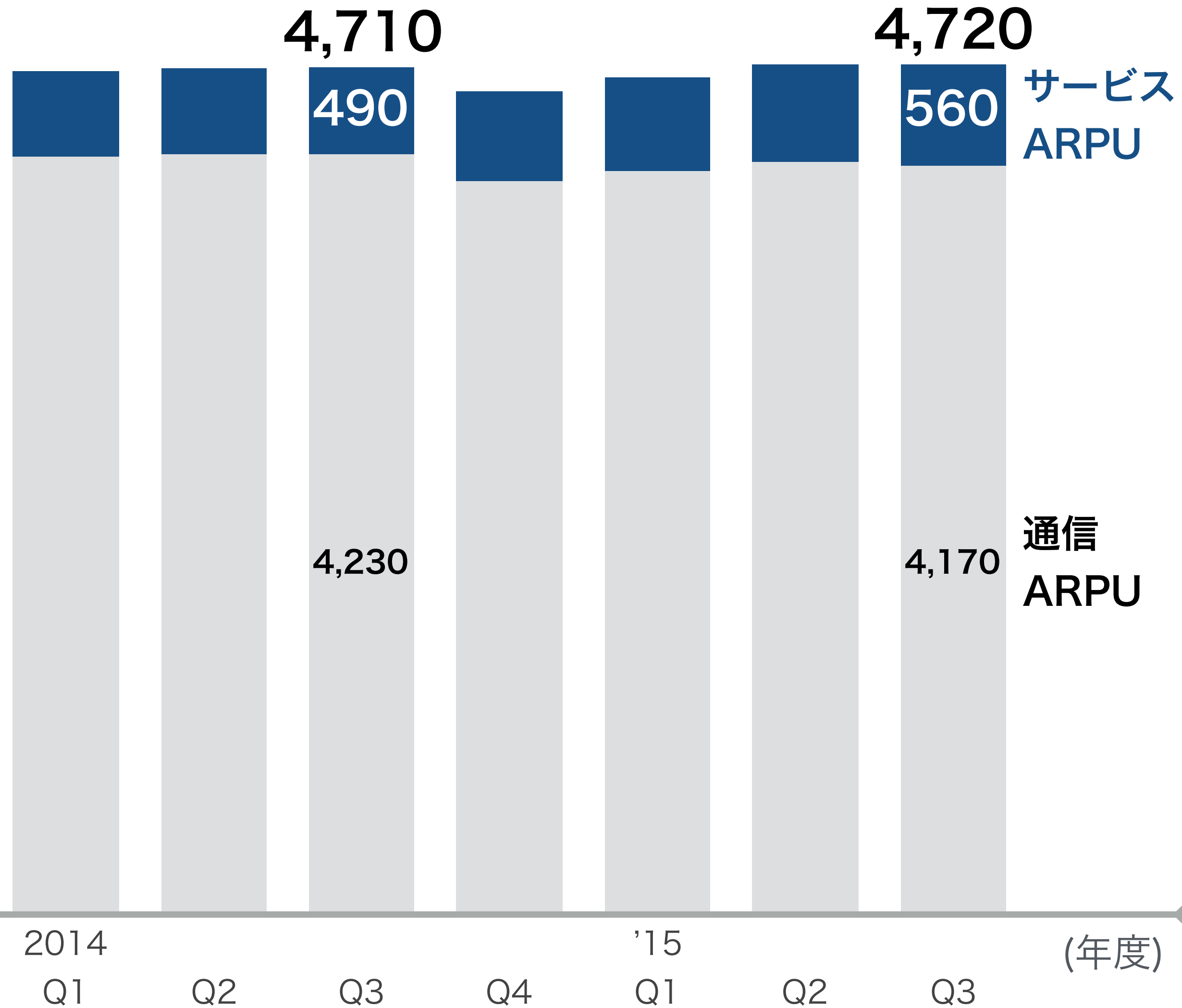
\*2011年度：日本基準 2012～2015年度：国際会計基準

2014年度以降：国内通信事業

2013年度以前：移動通信事業 + 固定通信事業 + ブロードバンド・インフラ事業 9

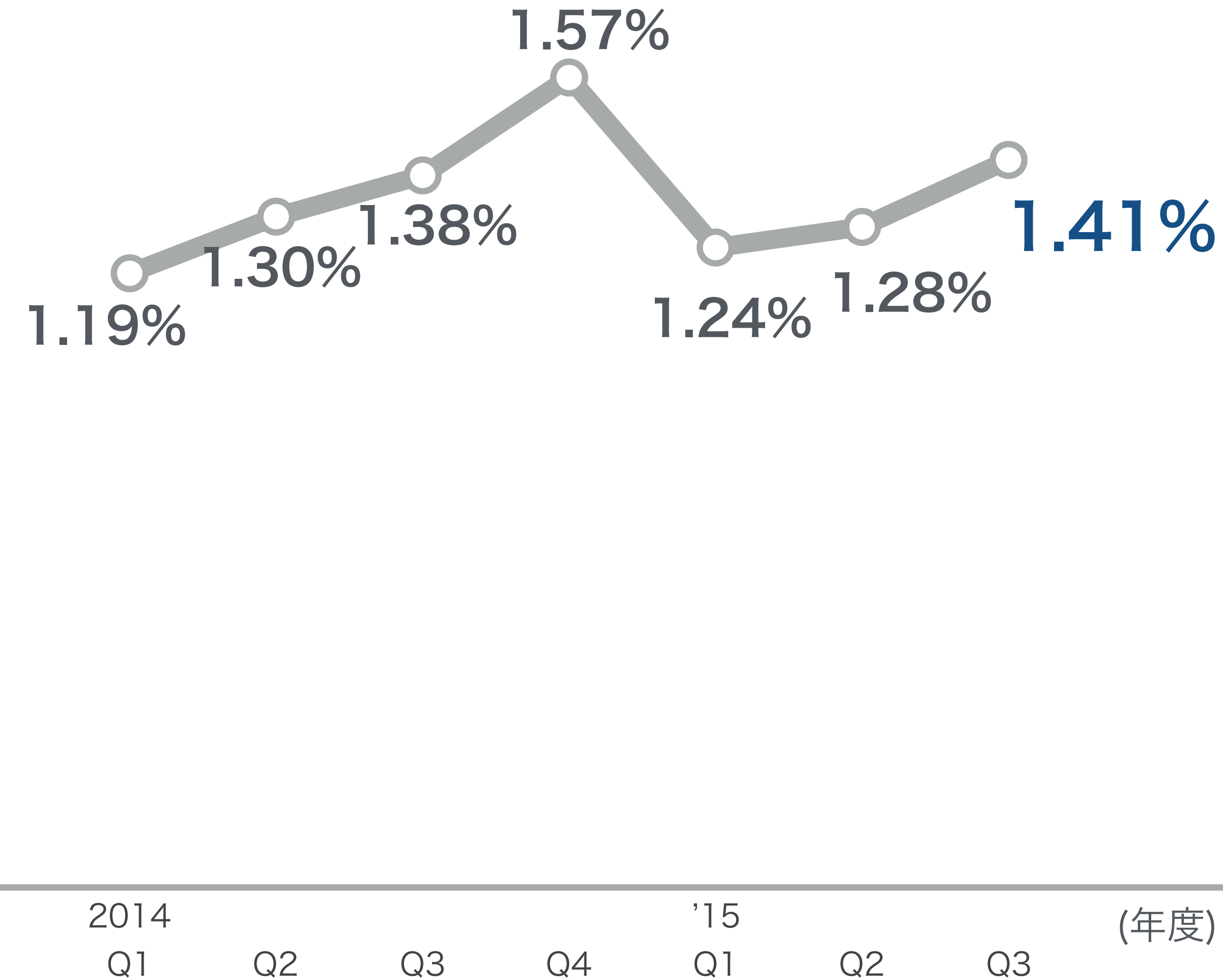
# ARPU (主要回線)

円



- 安定的に推移
- サービスARPUが増加
- 通信ARPUは減少

# 解約率 (主要回線)

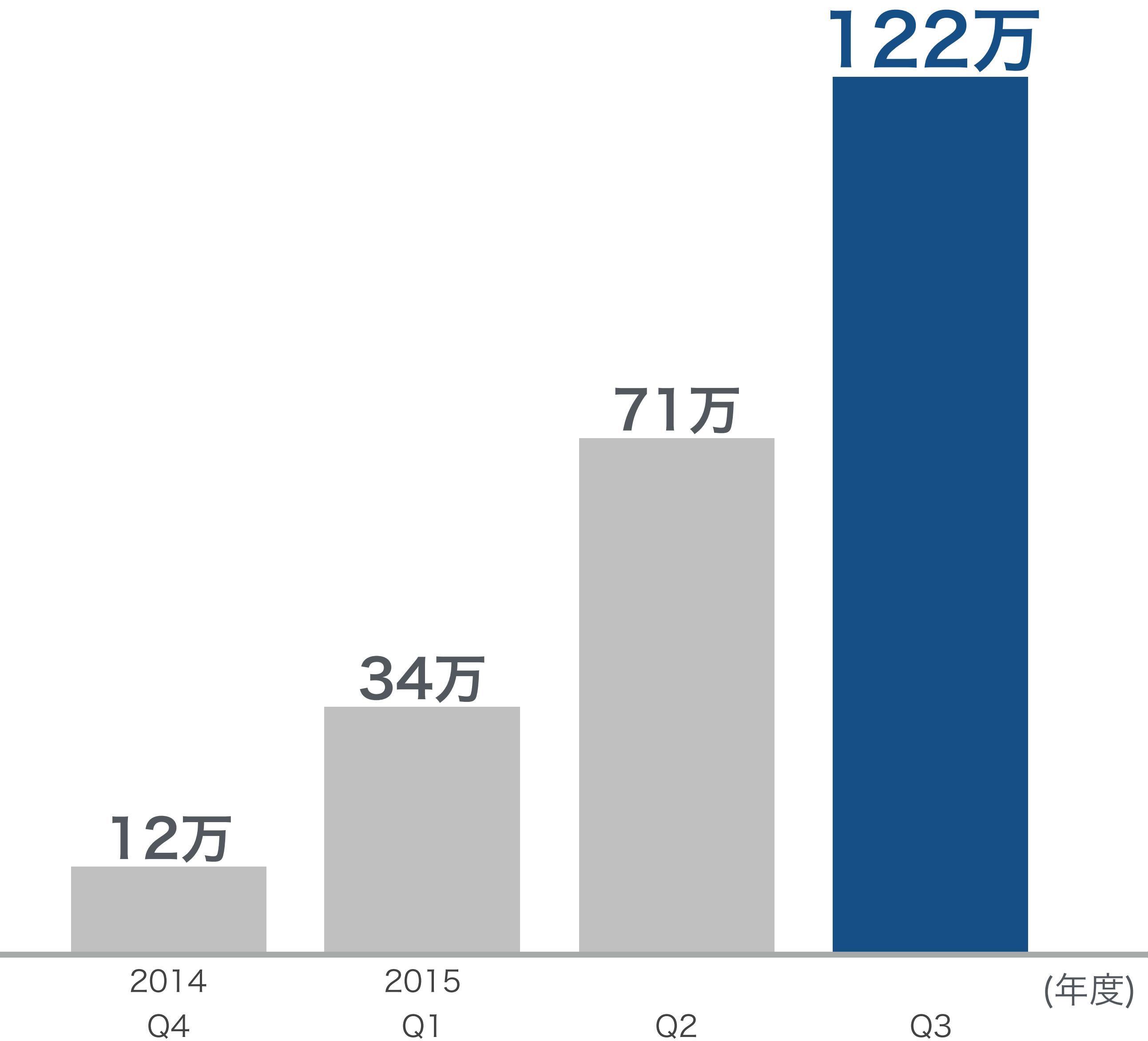


- ・ 光/電力とのバンドルに注力
- ・ 顧客満足度の改善へ

# おうち割

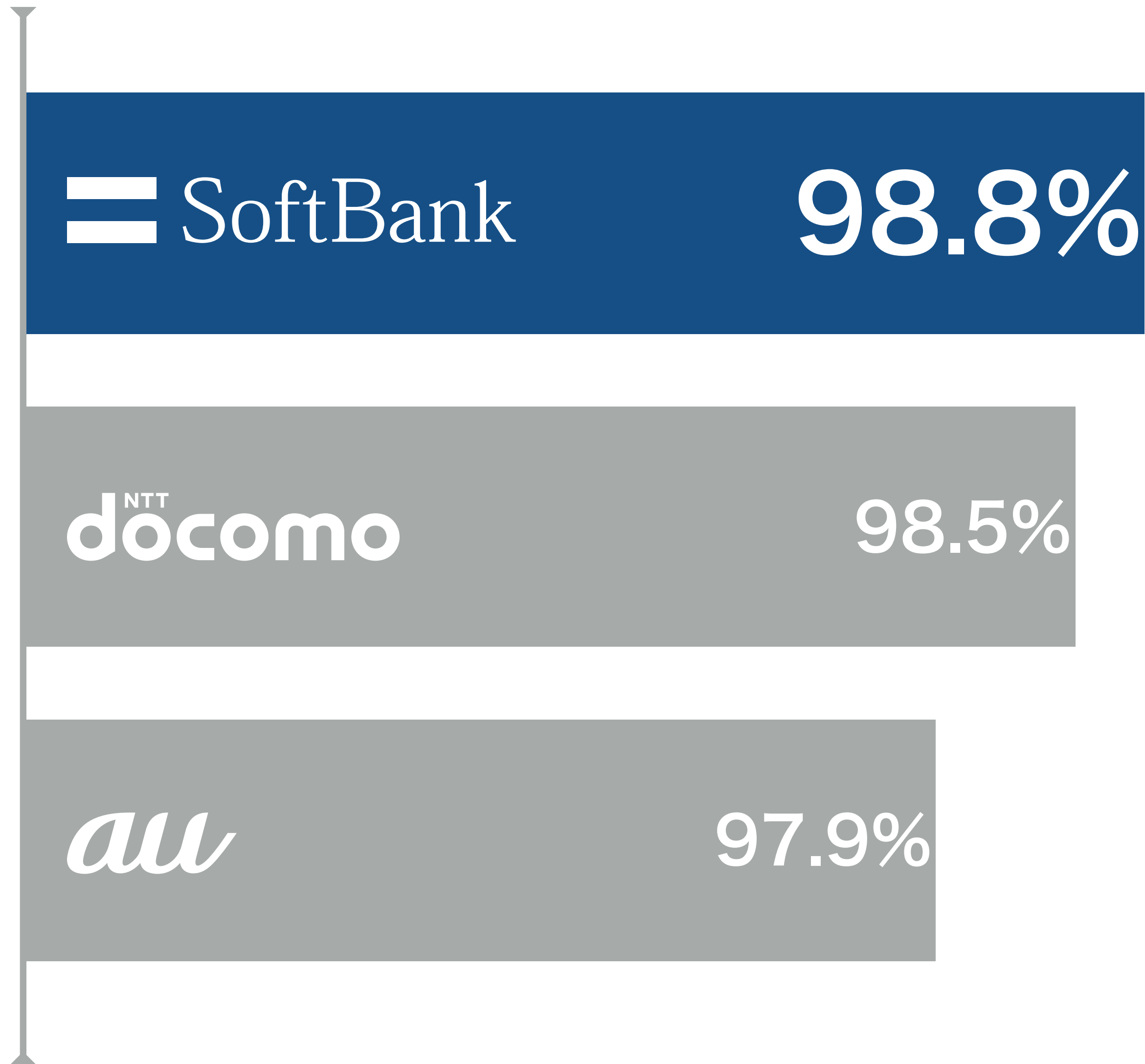
1. でんきセット
2. 光セット
- ⋮

- ・ 家計を総合的にサポート
- ・ 家族契約の獲得に注力



- 120万契約を突破
- バンドルサービスで解約率改善へ

SoftBank 光



- 高水準を維持
- 効率的な設備投資を継続

# フリーキャッシュフロー

円

2,394億

36億

2014年度  
Q1-3

2015年度  
Q1-3

- FCFを創出へ
- EBITDAが堅調に推移
- CAPEXがピークアウト



# ポートフォリオ

事業資産

ソフトバンク  
国内通信事業

スプリント

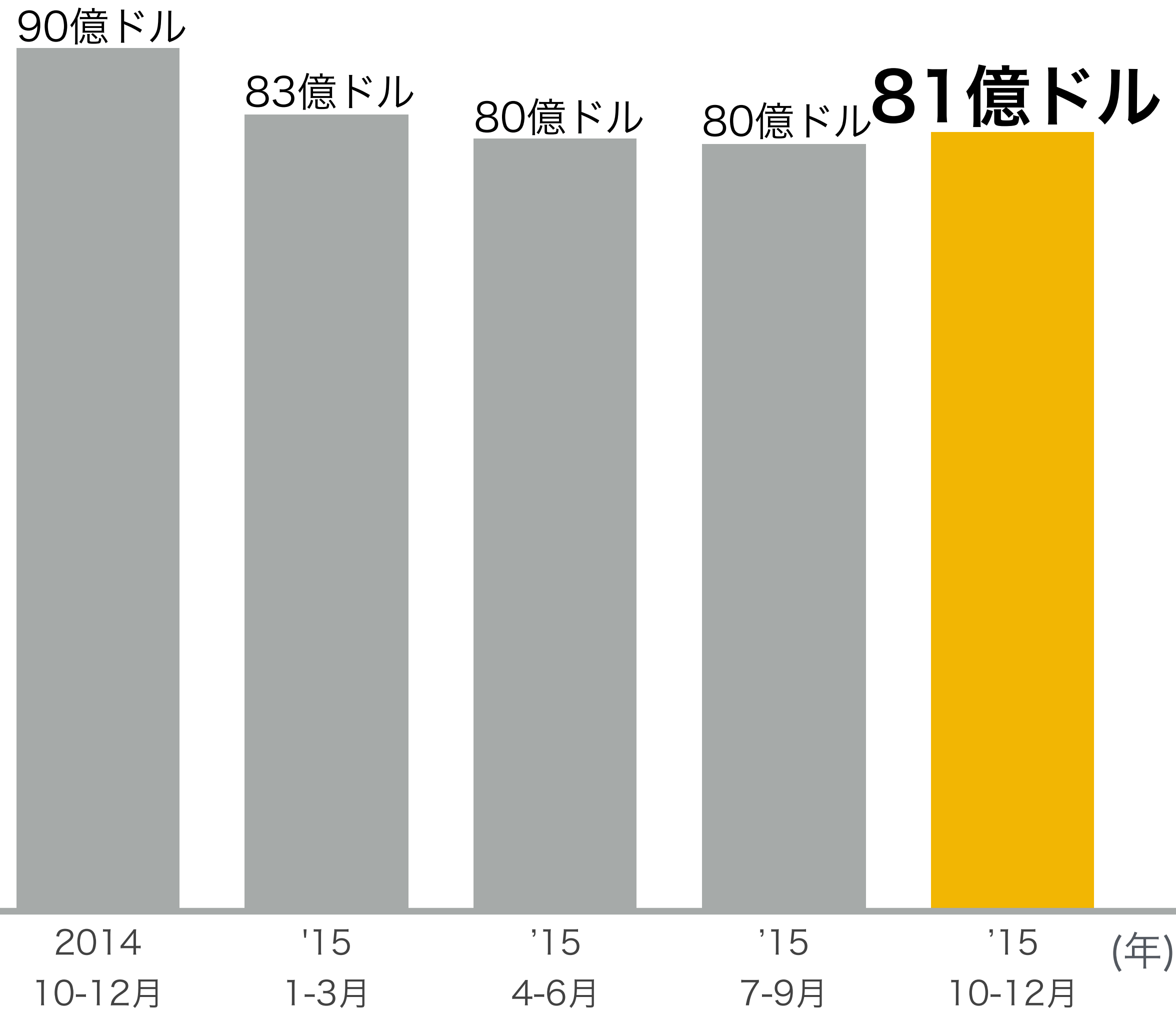
ヤフー

その他

# 総売上高



米国会計基準



- 直近3四半期で安定化
- 2016年度は成長へ

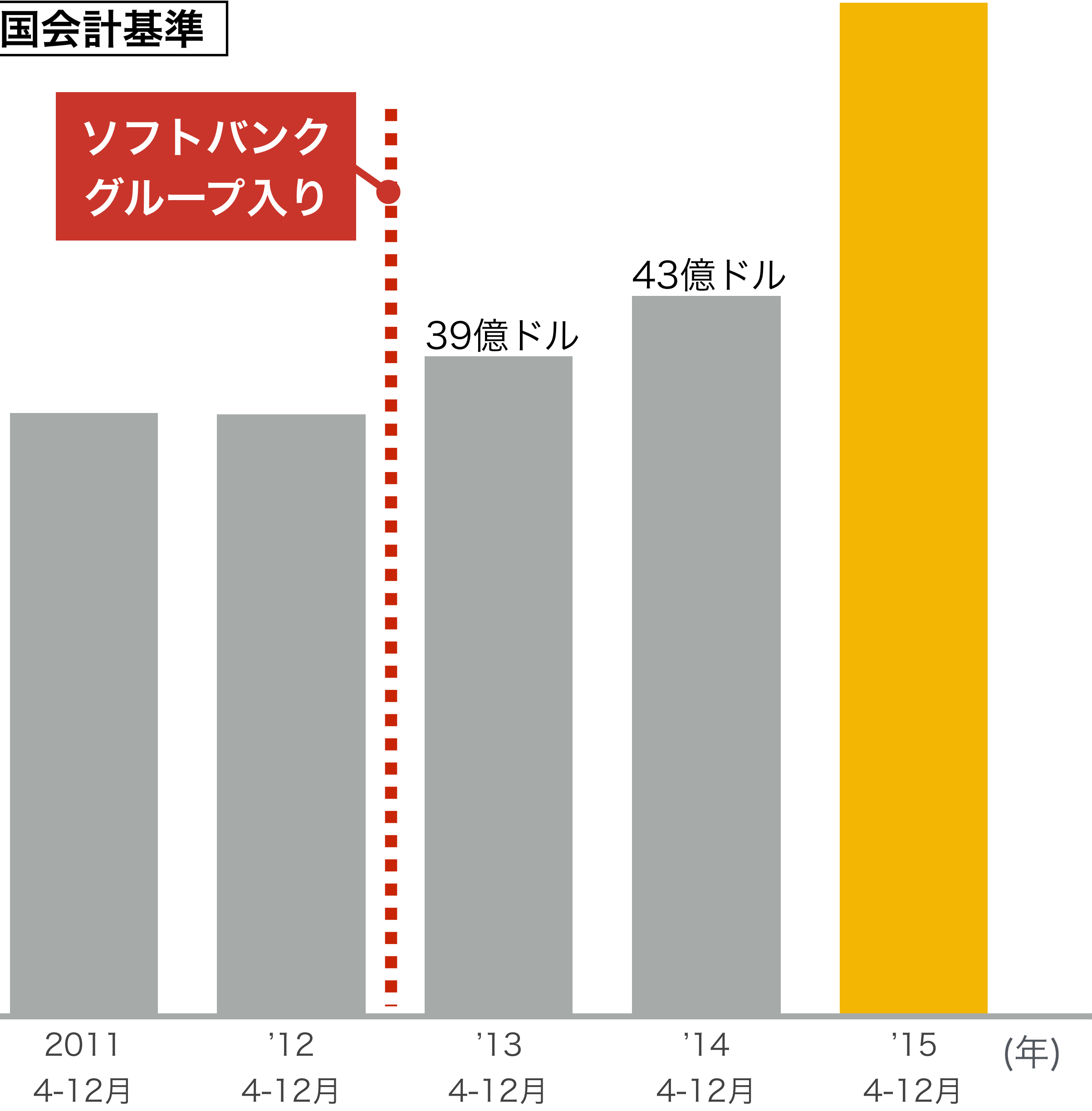
# 調整後EBITDA



米国会計基準

ソフトバンク  
グループ入り

## 60億ドル



- 前期比41%増加
- コスト削減が進展

# 営業利益



米国会計基準

ソフトバンク  
グループ入り

3億ドル

-0.8億ドル

-19億ドル

2011 4-12月    '12 4-12月    '13 4-12月    '14 4-12月    '15 4-12月 (年)

- 改善傾向
- コスト削減が進展

\* 2014年10-12月期の減損影響を除く

Sprint



反転への戦略

# 反転への戦略

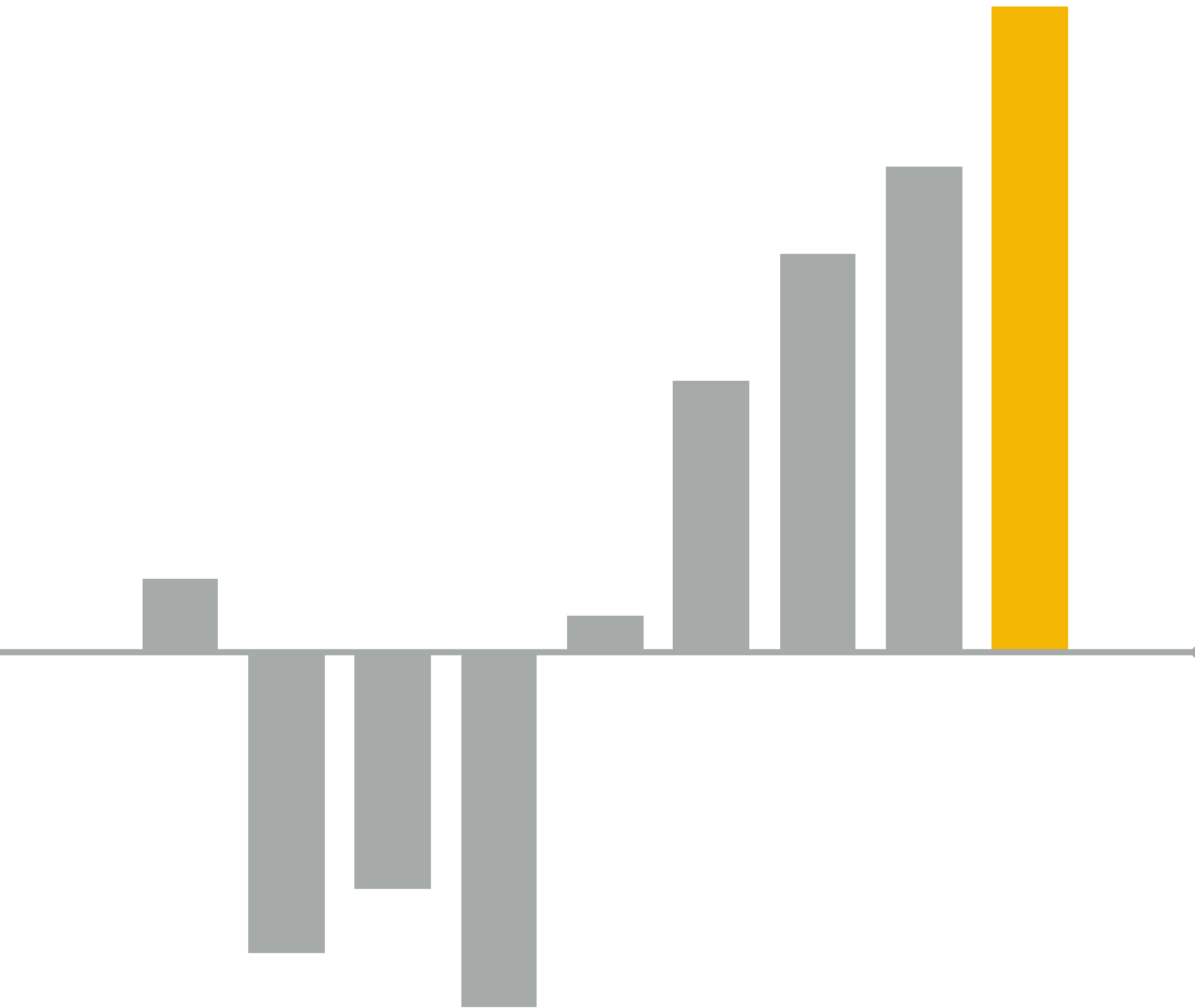
**純増の改善**  
(ポストペイド)

**OPEX削減**

**多様な調達手段**

**ネットワーク改善**

+50.1万



- 解約率の低減
- MNPが4四半期連続純増  
10-12月期は過去最高

2013年  
10-12月

2014年  
4-6月

2014年  
10-12月

2015年  
4-6月

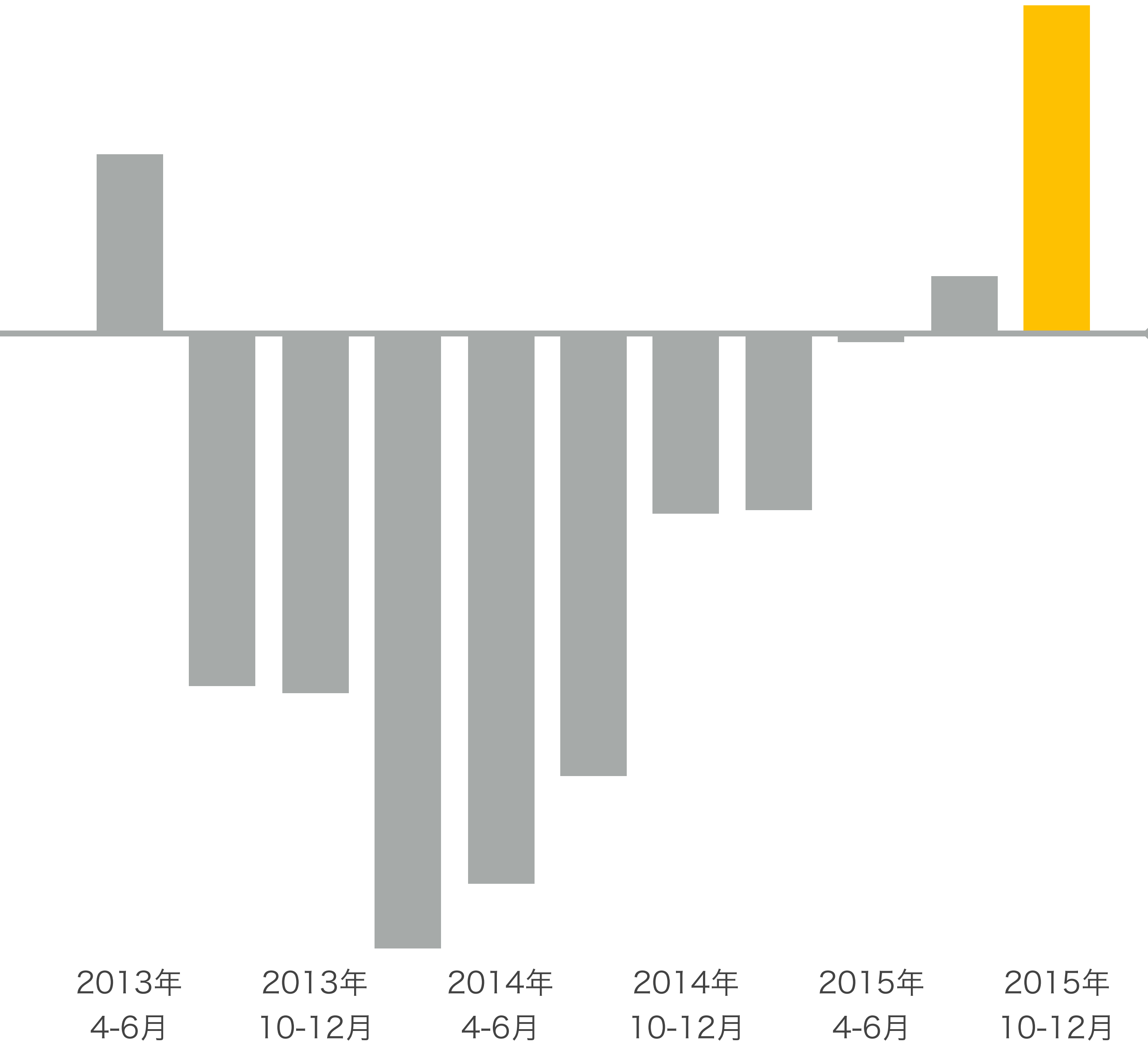
2015年  
10-12月

\*スプリントプラットフォーム  
\*FY15Q2において、支払を一定期間猶予するプログラムが適用された一部のプリペイド契約者を  
ポストペイド契約者に含めて開示してたが、これを改め、FY15Q3から当該契約者はプリペイド契約に含めて開示。  
FY15Q2についても変更後の定義に基づき契約数を遡及修正している。

# 純増 (ポストペイド携帯電話)



+36.6万

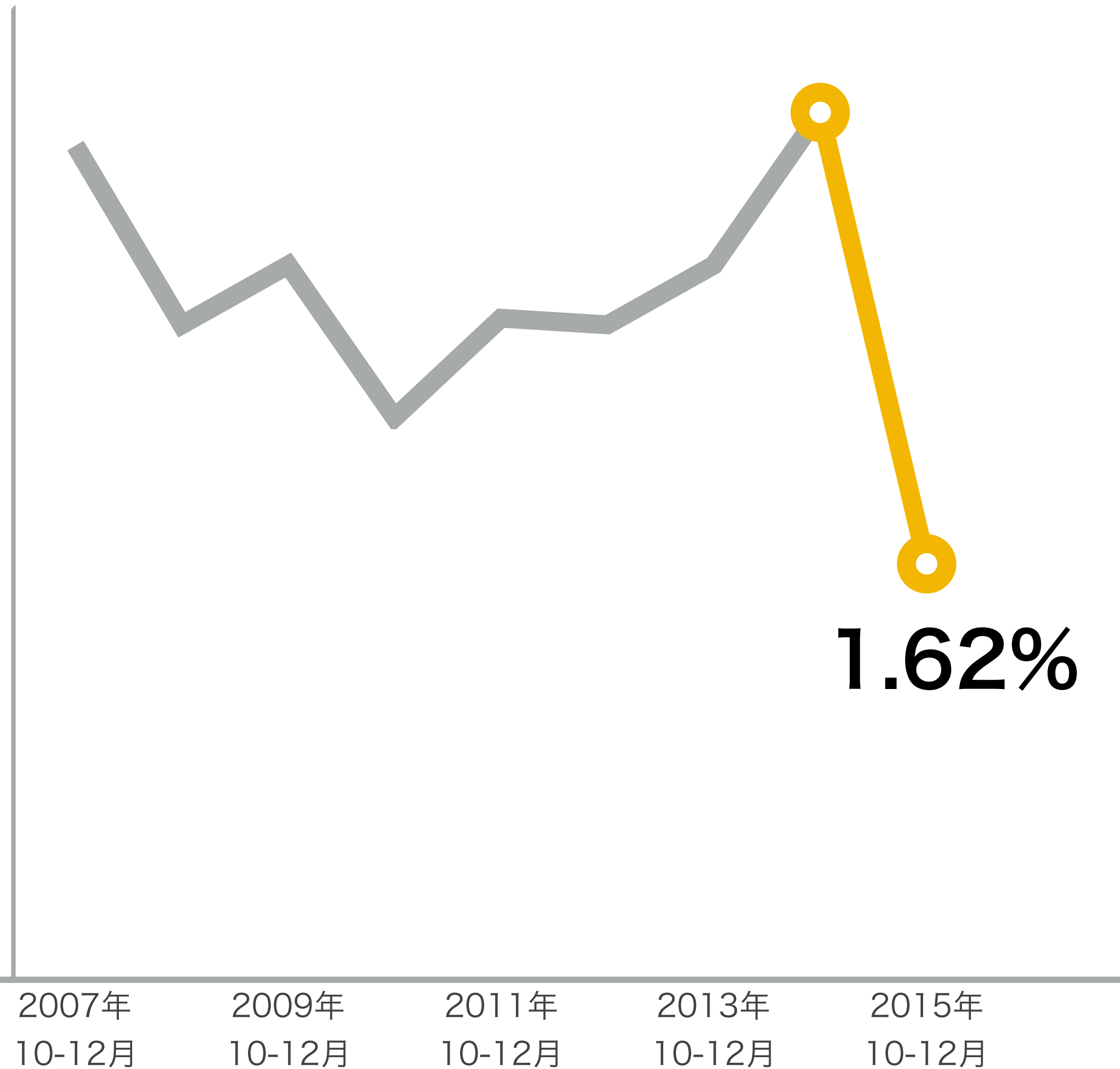


- 過去3年で最高
- 2四半期連続の純増

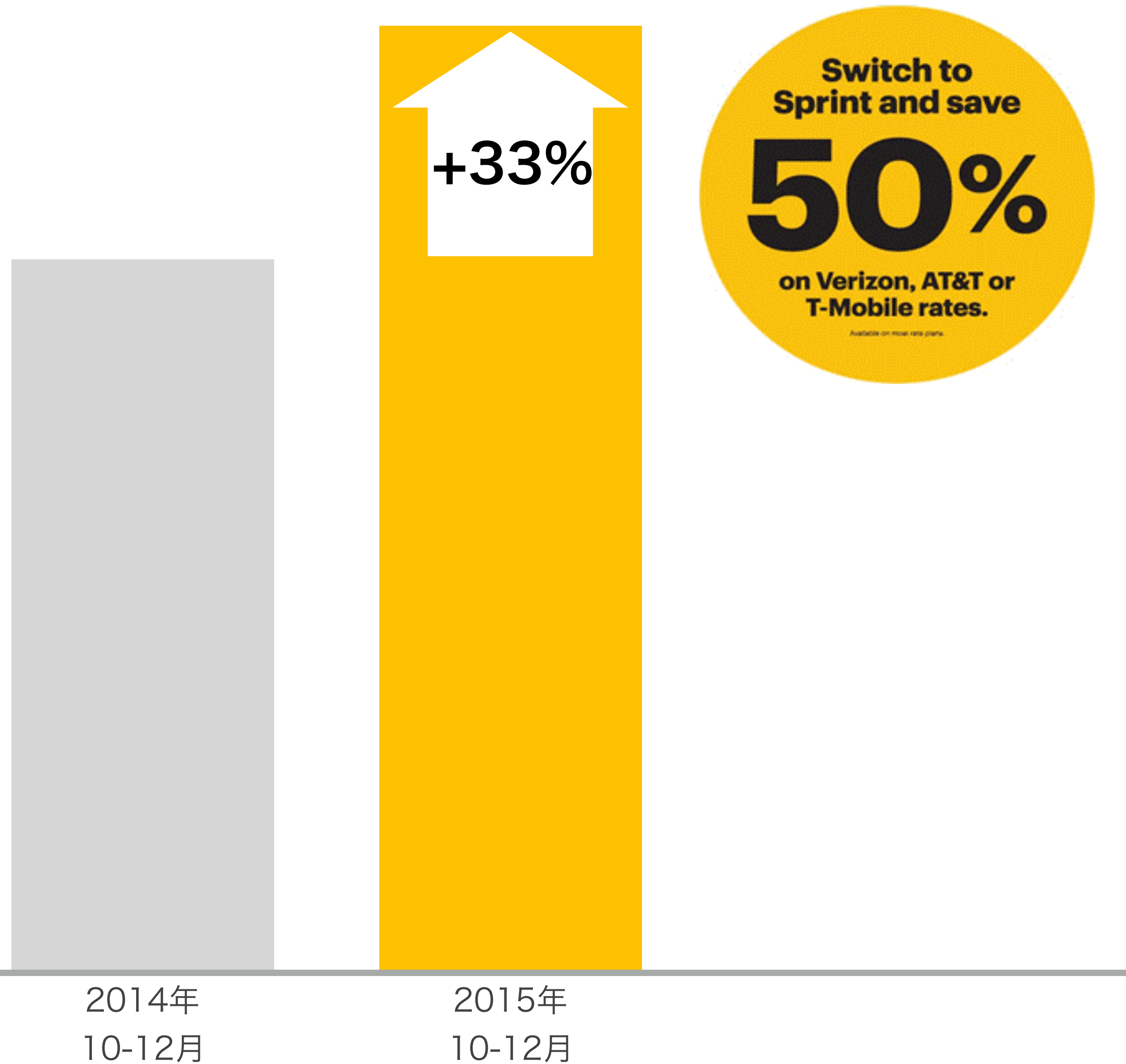
\*スプリントプラットフォーム  
\*FY15Q2において、支払を一定期間猶予するプログラムが適用された一部のプリペイド契約者を  
ポストペイド契約者に含めて開示してたが、これを改め、FY15Q3から当該契約者はプリペイド契約に含めて開示。  
FY15Q2についても変更後の定義に基づき契約数を遡及修正している。



# 解約率 (ポストペイド)



- Sprint史上最小(10-12月期)
- 過去12年で最も改善
- 優良顧客の増加とネットワーク品質の改善



- 前期比33%増
- 優良顧客と複数回線契約の獲得に注力

# 反転への戦略

純増の改善  
(ポストペイド)

OPEX削減

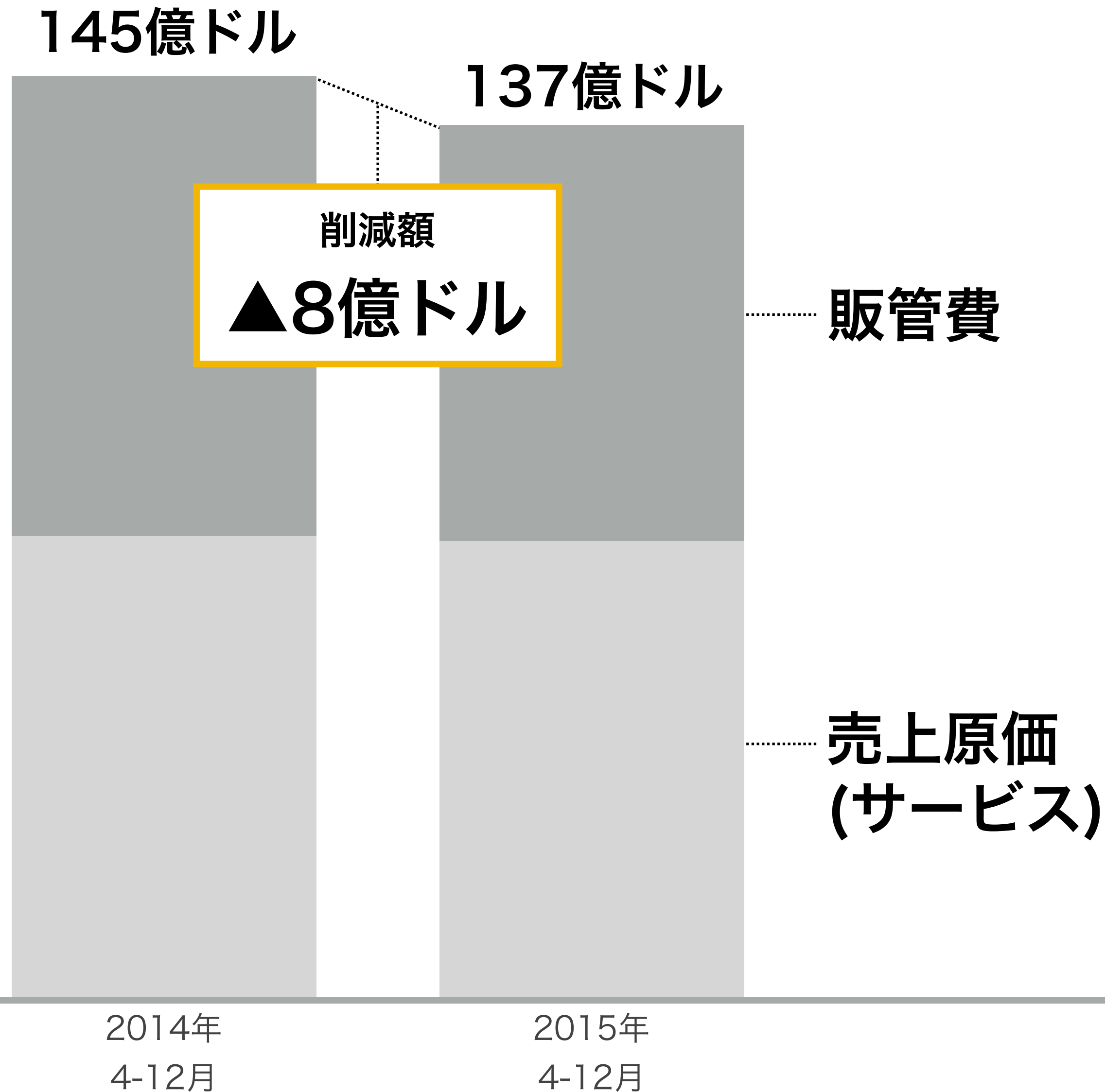
多様な調達手段

ネットワーク改善

# OPEX削減の進捗



米国会計基準



- ・ 9カ月で8億ドル削減
- ・ 2015年の削減目標を超過

# 恒常的OPEX削減(目標)



米国会計基準

## 20億ドル超



2016年度Q4  
削減額(年換算)

- 聖域なきOPEX削減を断行
- 目標達成に自信

# 反転への戦略

純増の改善  
(ポストペイド)

OPEX削減

多様な調達手段

ネットワーク改善

# 手元流動性



米国会計基準

億ドル

120~150

NW機器等を  
活用した資金調達

30~50

端末リース会社

30~40

ベンダーファイナンス  
債権流動化枠

6

8

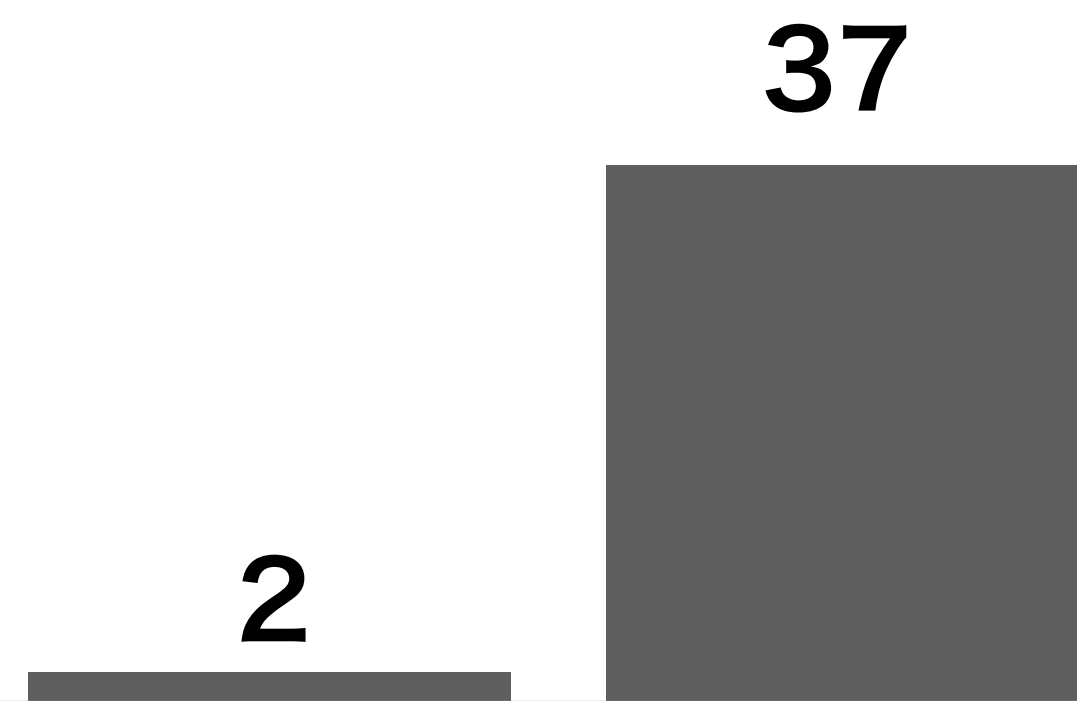
使用可能  
リボルバー額

30

現金  
現金同等物  
短期投資

22

手元流動性



2015年度

2016年度

社債、借入返済額

## 潤沢な流動性を維持

(注) NW機器等を活用した資金調達および端末リース会社による調達は2016年度に実施予定

# 多様な調達手段

**1** ベンダーファイナンス

**2** 端末リース調達

**3** 債権流動化による調達可能枠の増額

**4** NW機器等を活用した資金調達



# 反転への戦略

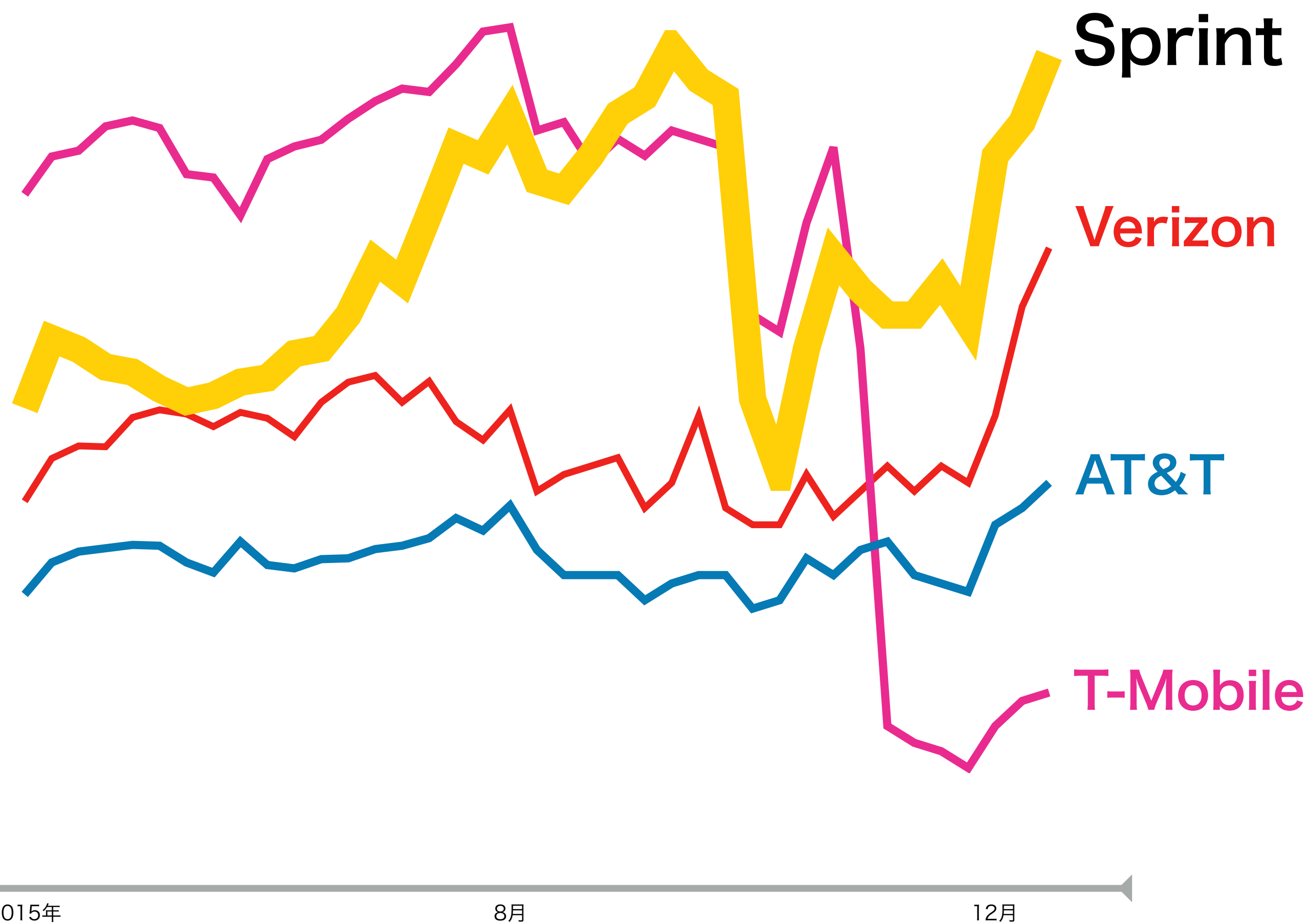
純増の改善  
(ポストペイド)

OPEX削減

多様な調達手段

ネットワーク改善

# ダウンロード実効速度 (LTE)

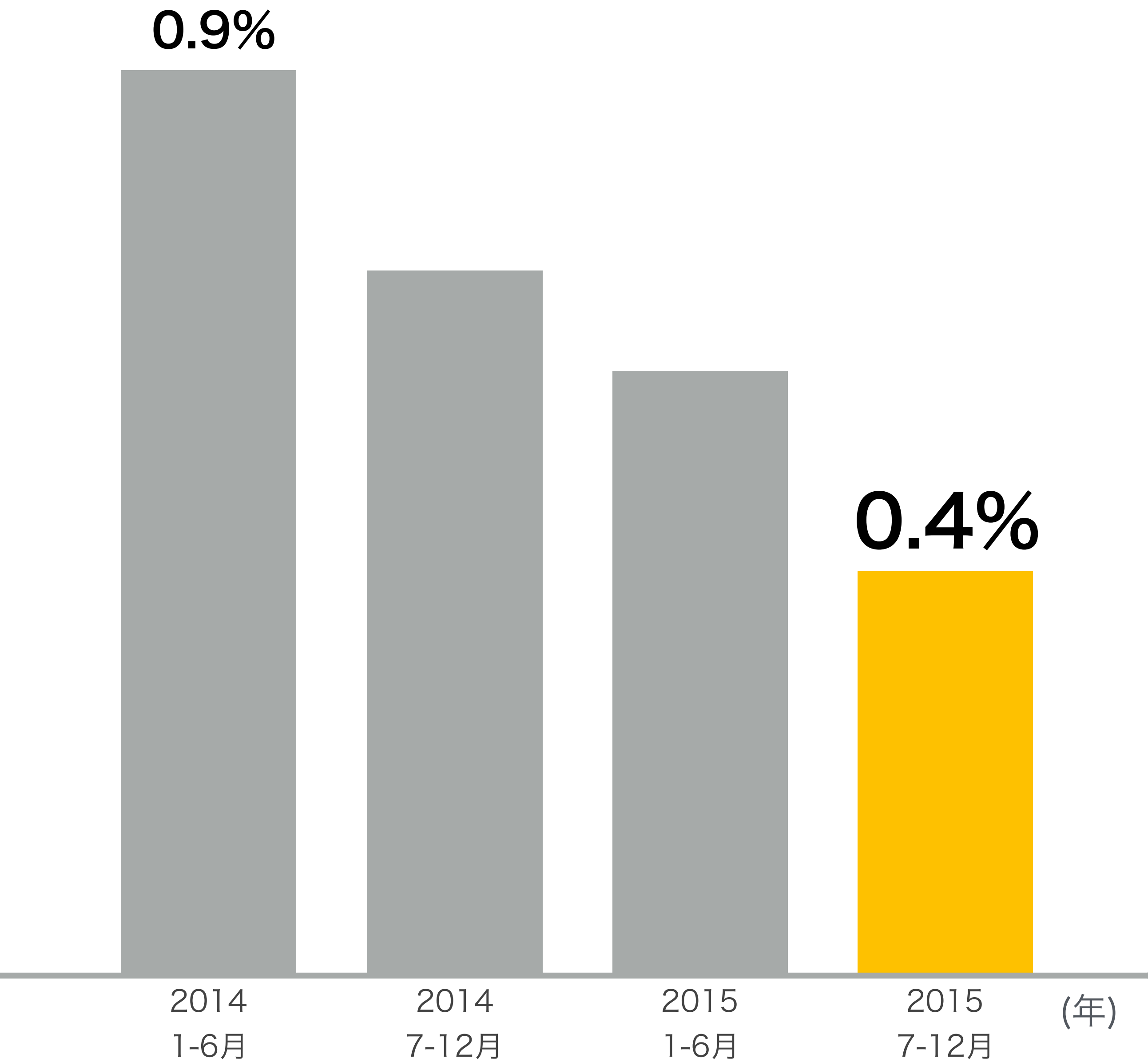


- ・ 4大キャリアで最速
- ・ LTEプラスを150都市で展開

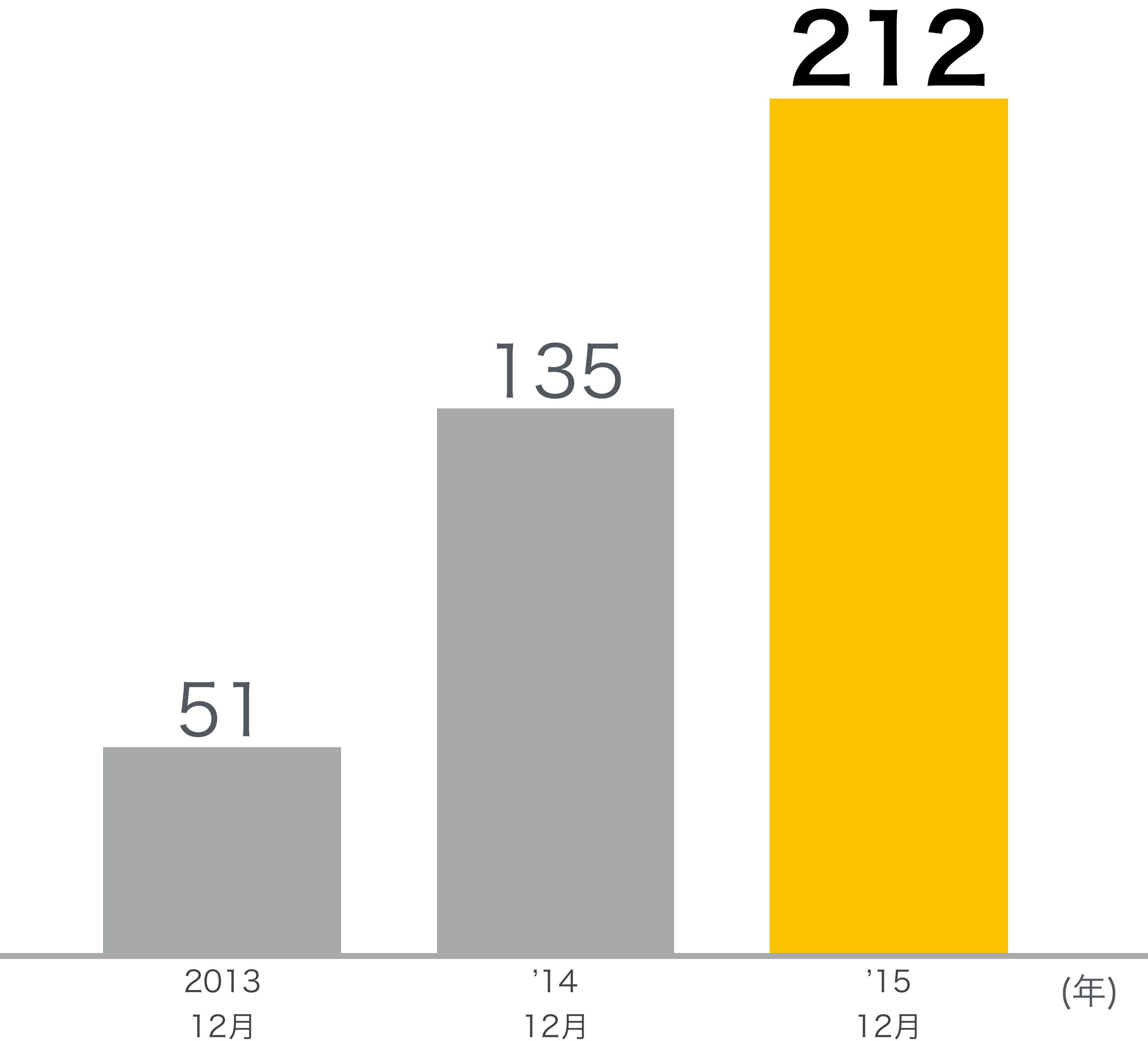
## LTEプラス

Sprintが保有する3つの周波数帯 (2.5GHz, 1.9GHz, 800MHz) を利用したLTEネットワークに、キャリアアグリゲーションやアンテナビームフォーミングといった最先端技術を適用したもの

# ドロップコールレート(通話切断率)



- 改善傾向
- 過去最小

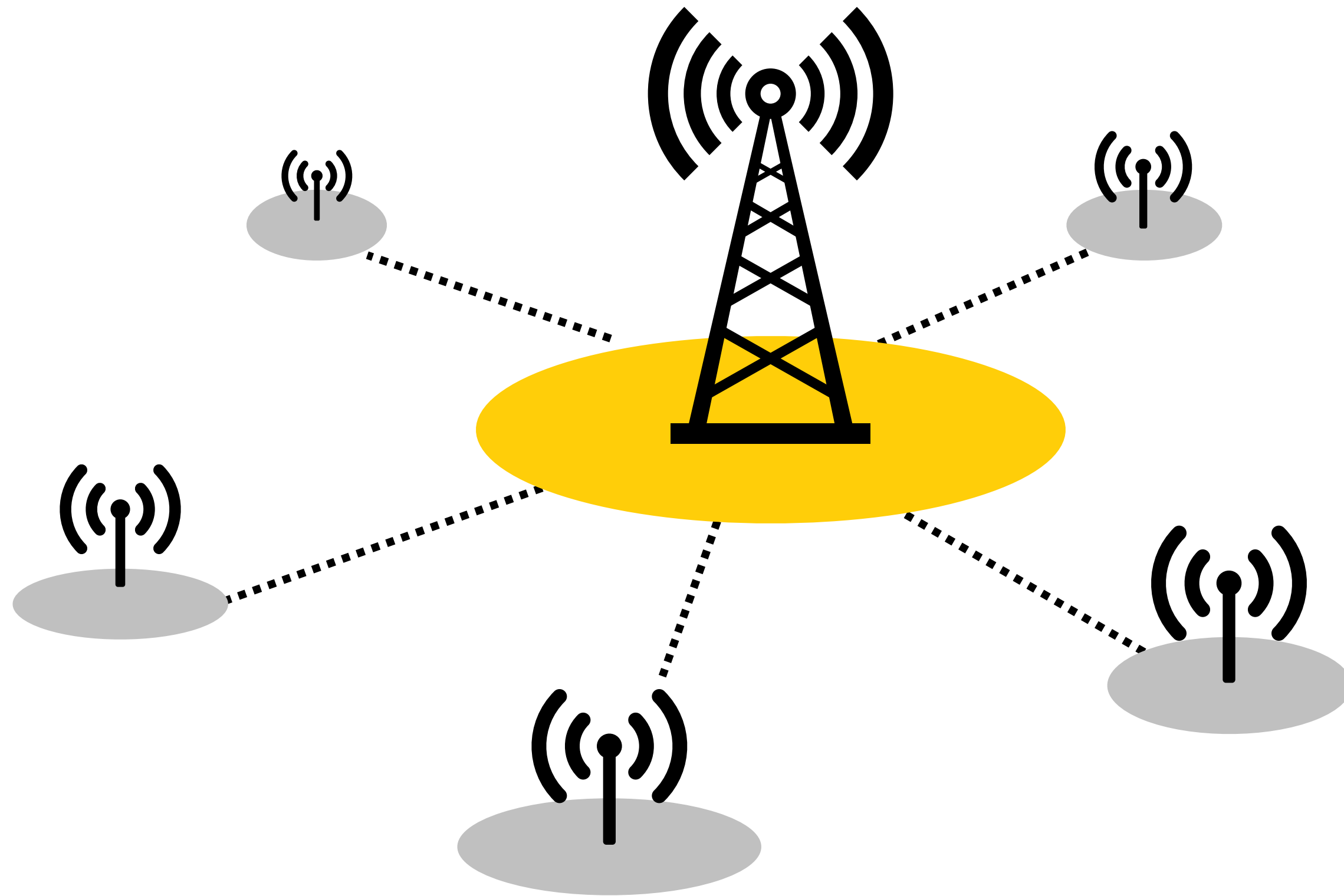


- 史上最多の受賞数
- 全米キャリアで最も改善
- T-Mobileを初めて逆転

#### RootScore アワード

125の都市圏における6つのネットワーク品質に係る指数のうち、1位または同率1位だった指数の数

(参考) 6つの指数: 総合、信頼性、スピード、データ、通話、テキストメッセージ



- 基地局を増加し通信品質を改善
- NW改善とコスト効率化を両立

# 反転への戦略

**純増の改善**  
(ポストペイド)

**OPEX削減**

**多様な調達手段**

**ネットワーク改善**

# 調整後EBITDA

米国会計基準



95~100億ドル

77~80億ドル



68~71億  
ドル

60億ドル

57億ドル

51億ドル

48億ドル

57億ドル

2010

'11

'12

'13

'14

'15

'16

(年度)

予想

予想(概算)

- 2015年度予想を上方修正
- コスト削減を加速
- 2015年度 営業黒字化予想 (1~3億ドル)

# ポートフォリオ

事業資産

ソフトバンク  
国内通信事業

スプリント

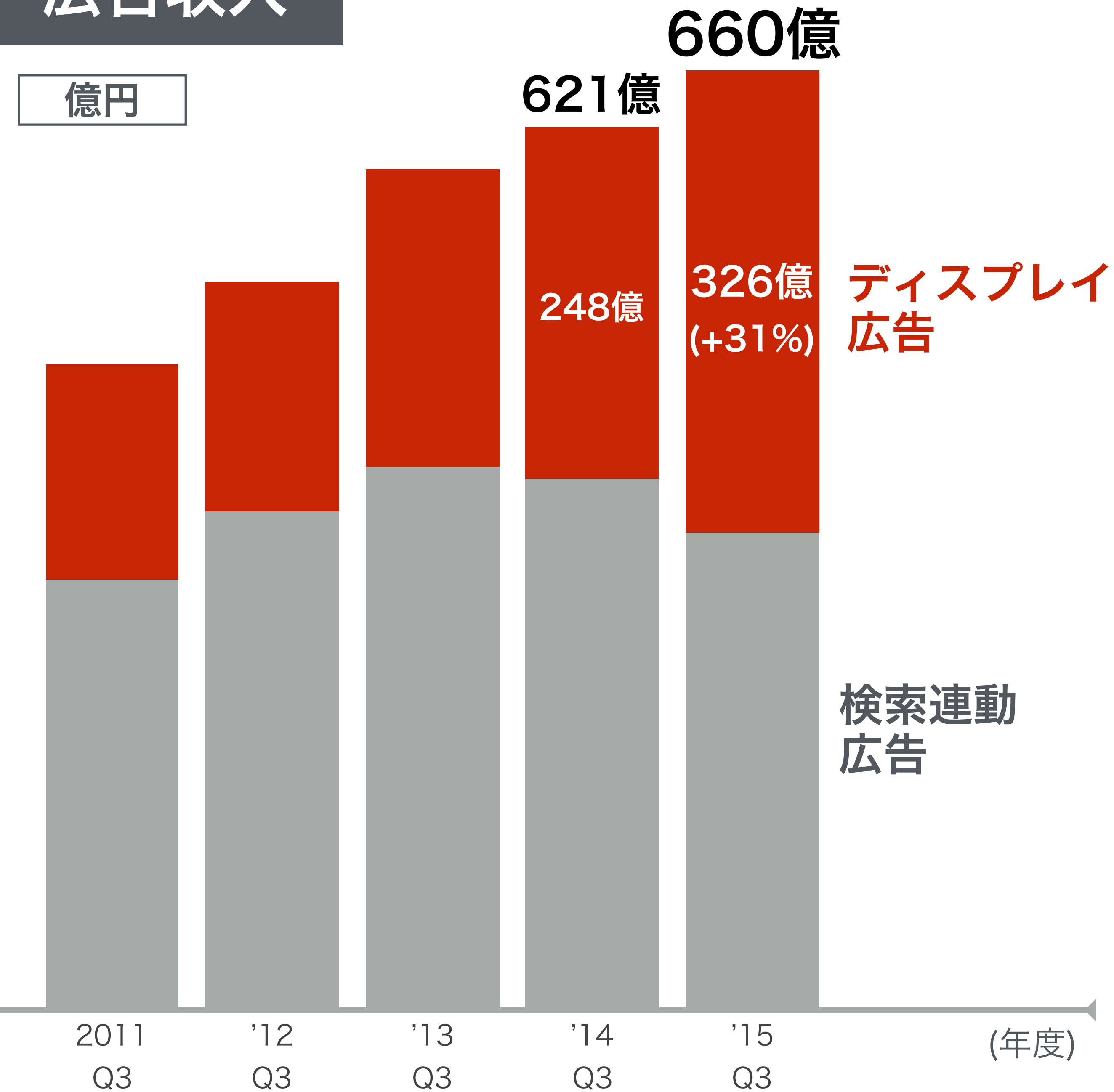
ヤフー

その他



# 広告収入

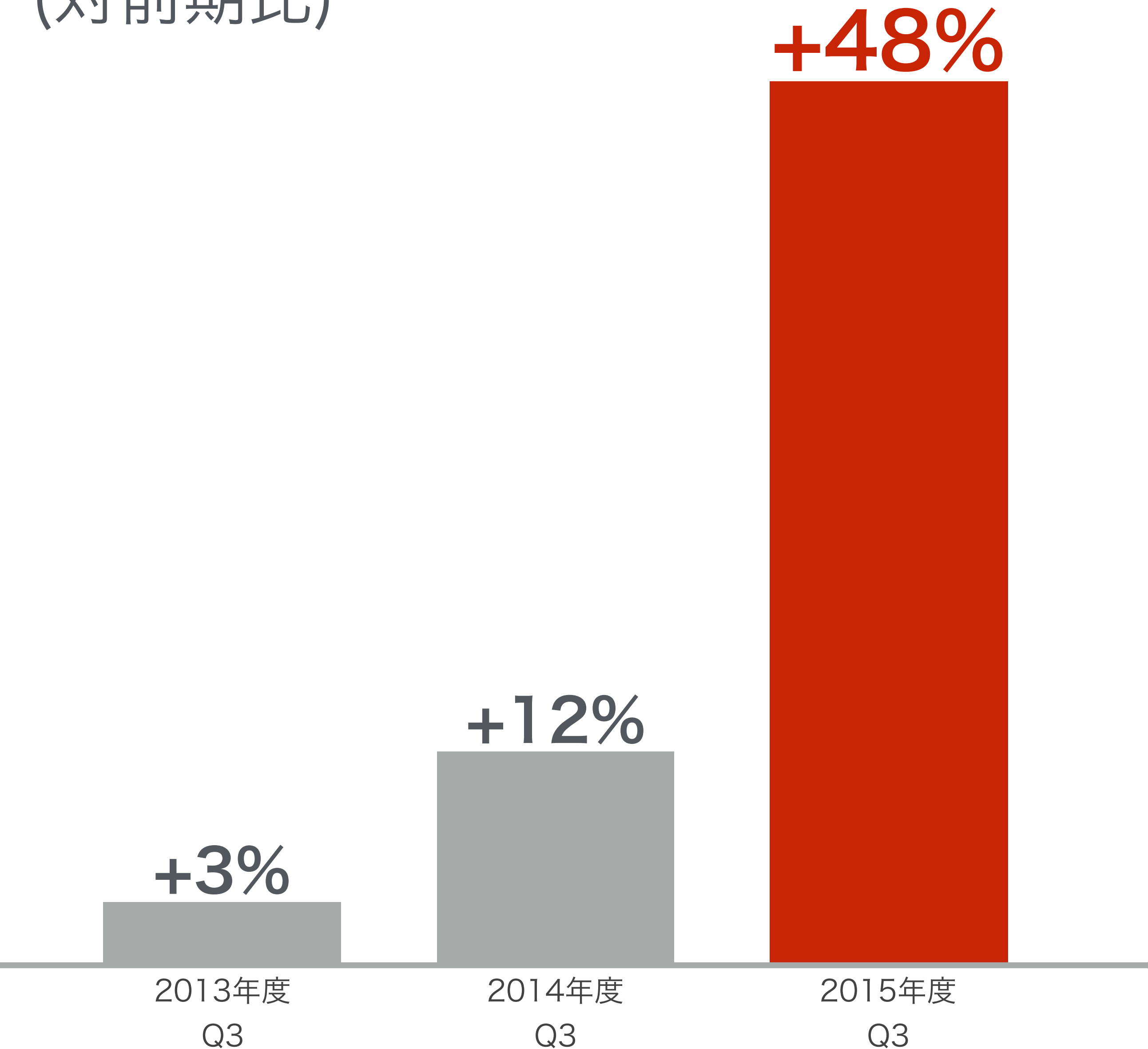
億円



- ディ스플레이広告が成長
- Yahoo!ディスプレイアドネットワークが貢献

# ショッピング事業 取扱高

(対前期比)



- 前期比48%増
- イーコマース新戦略が奏功
- 販促施策が成功

# 一休の公開買付け (2月3日完了)

**YAHOO!**  
JAPAN



- ・ 宿泊・レストラン予約を強化
- ・ シナジーによりさらなる成長へ

**YAHOO!**  
JAPAN

 **一休.com**

# ポートフォリオ

事業資産

ソフトバンク  
国内通信事業

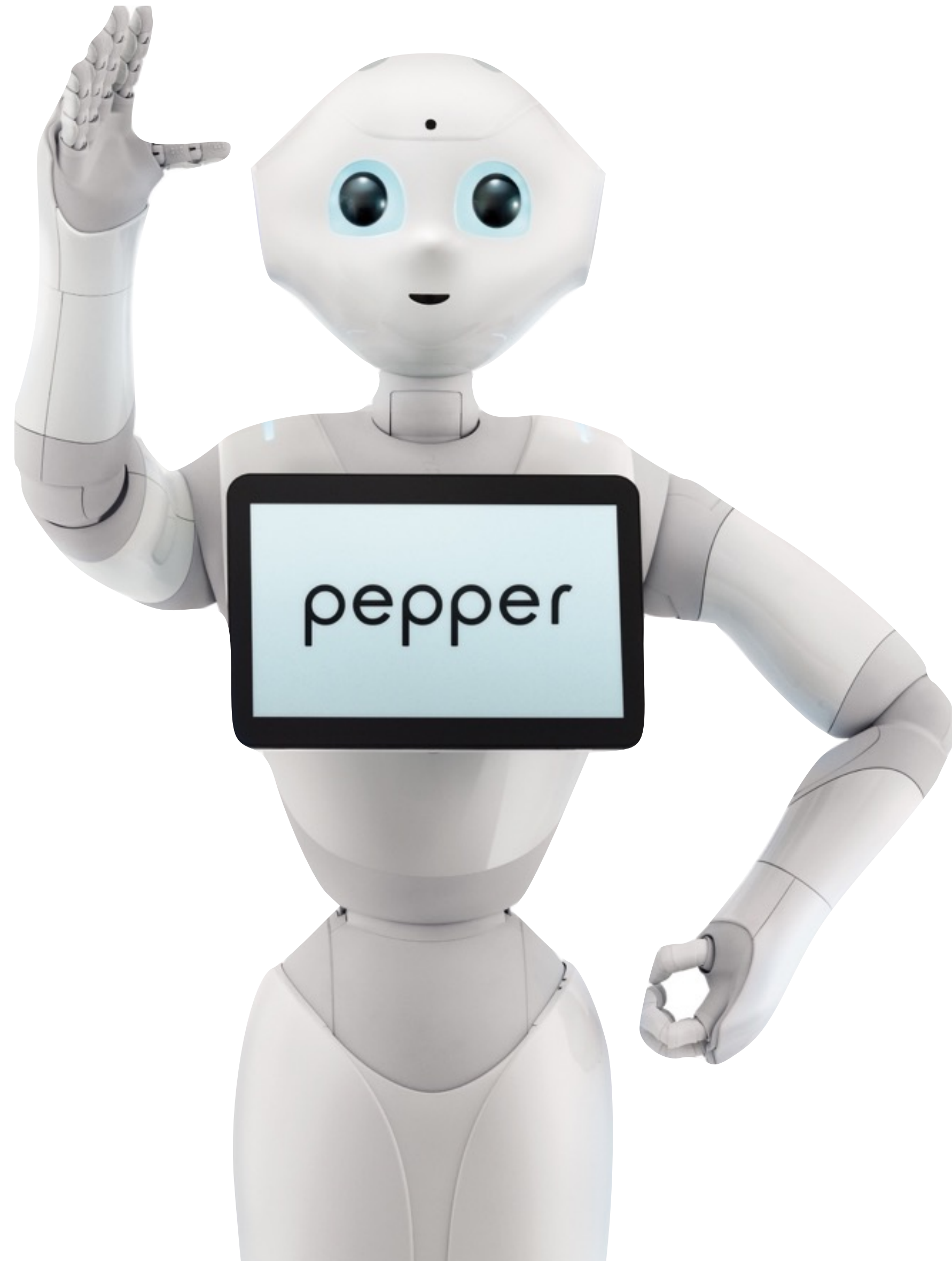
スプリント

ヤフー

その他

# Pepper

SoftBank  
Robotics

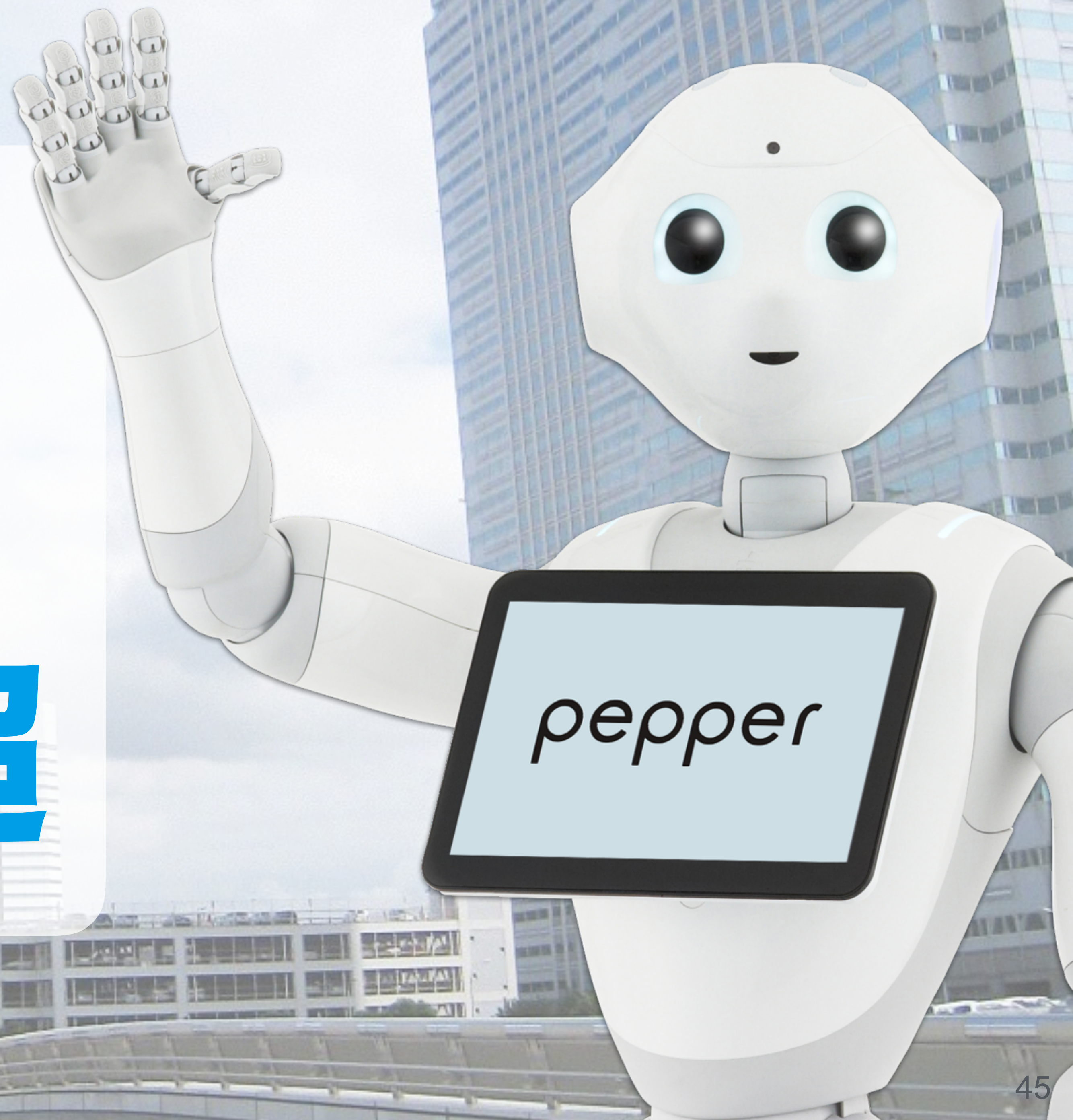


7カ月連続 1分で完売  
(各1,000台)

pepper for Biz

導入企業

500社超



# ポートフォリオ

事業資産

投資資産

# ポートフォリオ

イーコマース tokopedia  oyo

 Alibaba Group 阿里巴巴 snapdeal coupang

トランスポートーション



ゲーム



フィンテック



投資資産



# イーコマース



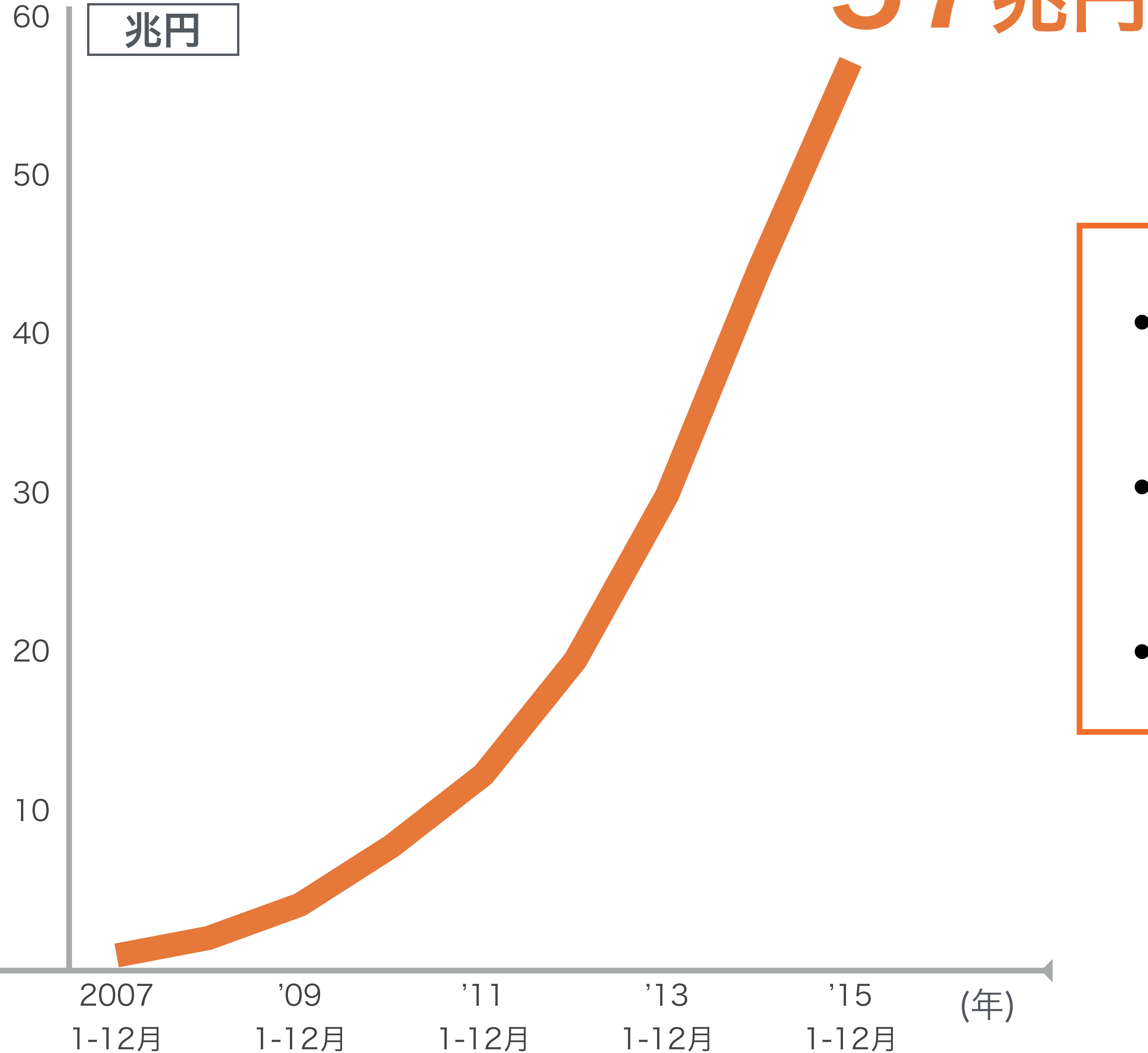
snapdeal

coupan

tokopedia



# 取扱高



- 独身の日の上場が貢献
- 農村部の利用拡大が寄与
- 顧客基盤/単価が拡大

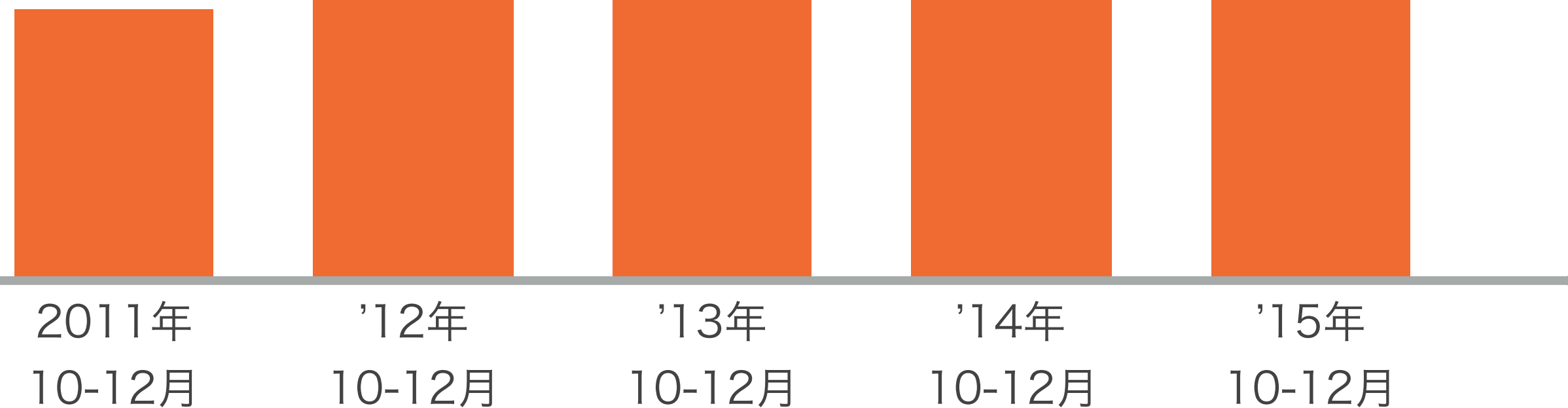
# 売上高

円

米国会計基準

6,682億

5,064億



- 前期比32%増
- 高成長の中国ECが牽引
- モバイルへの移行に成功

# モバイル収入

円

米国会計基準

3,626億

1,242億

2012年  
10-12月

'13年  
10-12月

'14年  
10-12月

'15年  
10-12月

- 前期比3倍に増加
- モバイルMAUが3.9億人に  
(前期比48%増)
- 1人当たりモバイル売上が倍増

MAU: Monthly Active Users (月間稼働ユーザー)

(出所) Alibaba 開示資料を基に当社作成 1ドル = 120円、6.2036RMBで換算

# 純利益(税引後)

円

米国会計基準

Non-GAAP

株式報酬費用/無形資産償却/  
投資の再評価益等の一時損益を除く

3,164億

2,537億

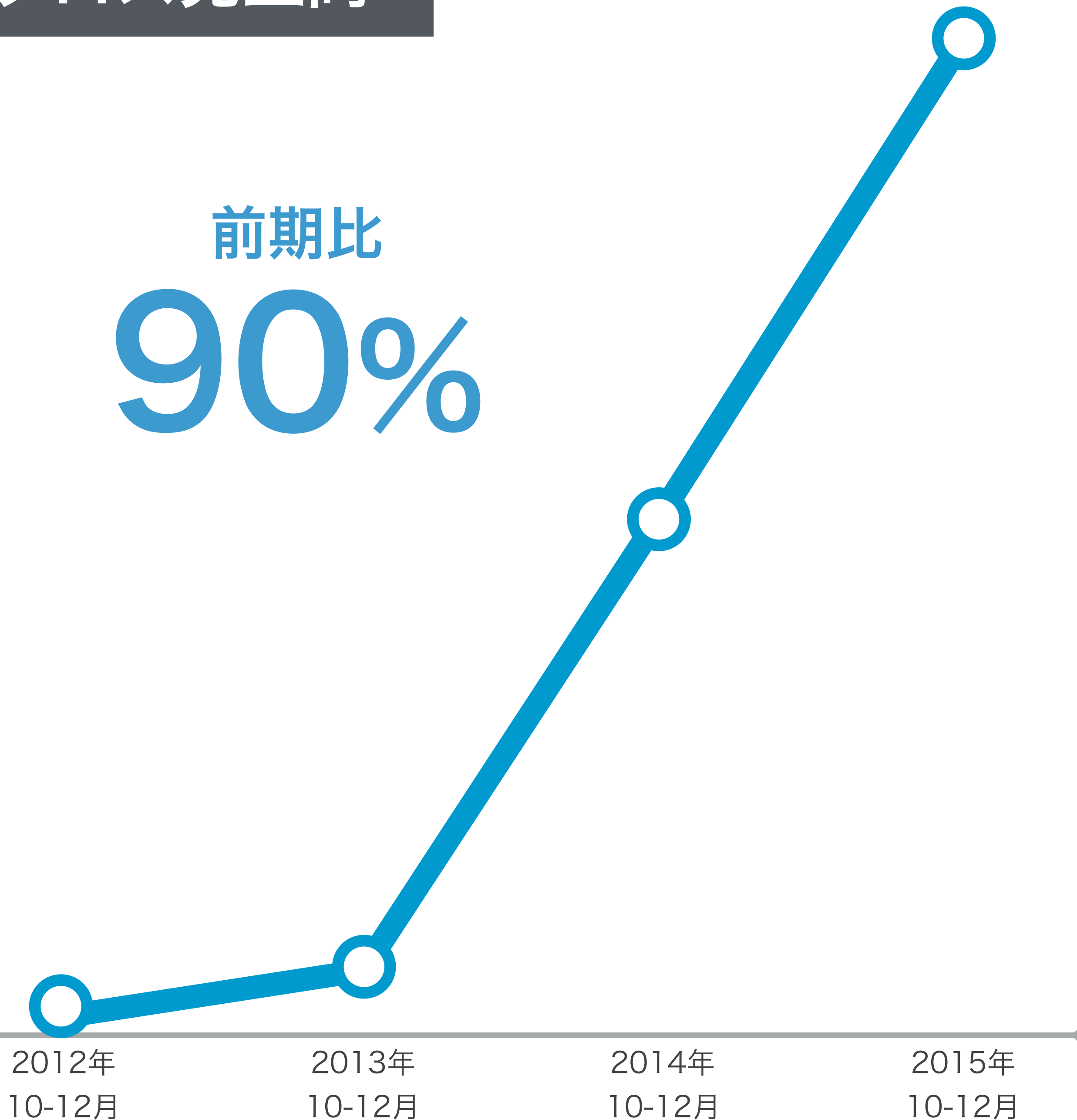
前期比25%増

2011年 10-12月    '12年 10-12月    '13年 10-12月    '14年 10-12月    '15年 10-12月

# グロス売上高

# snapdeal

前期比  
**90%**



- ディワリの売上が前年比3倍
- 25万超の売り手
- 3カ月で1,400万件の電子マネー口座を獲得

ディワリ

ヒンズー教の新年の祝祭。インドで消費が活発になる時期。

前期比  
**430%**

2013年

2014年

2015年

- 急成長
- 物流/決済業務を急拡大へ
- モバイルコマースで先行

リテール売上: 顧客の自宅まで商品を直接届ける宅配チーム「クーポン・マン」を含む、クーポンの受注・入金オペレーションシステムを経由し個別配達された商品からの売上。

前期比  
**303%**

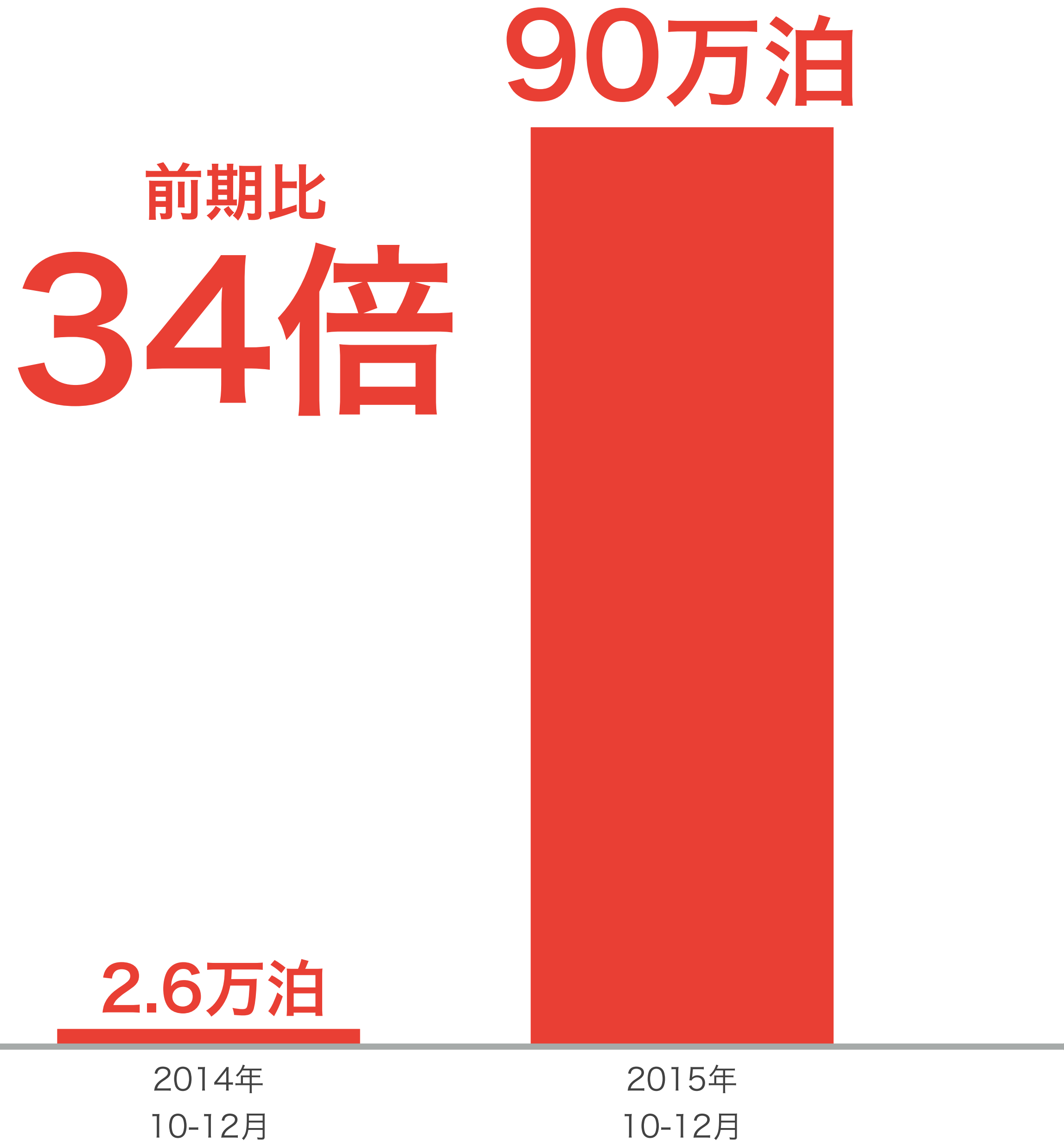


Year	Transaction Volume
2012年 10-12月	Low
2013年 10-12月	Medium-Low
2014年 10-12月	Medium-High
2015年 10-12月	Very High

2012年 10-12月    2013年 10-12月    2014年 10-12月    2015年 10-12月

- インドネシアのECを牽引
- 50万の売り手が参加
- 1,200万の取扱商品数





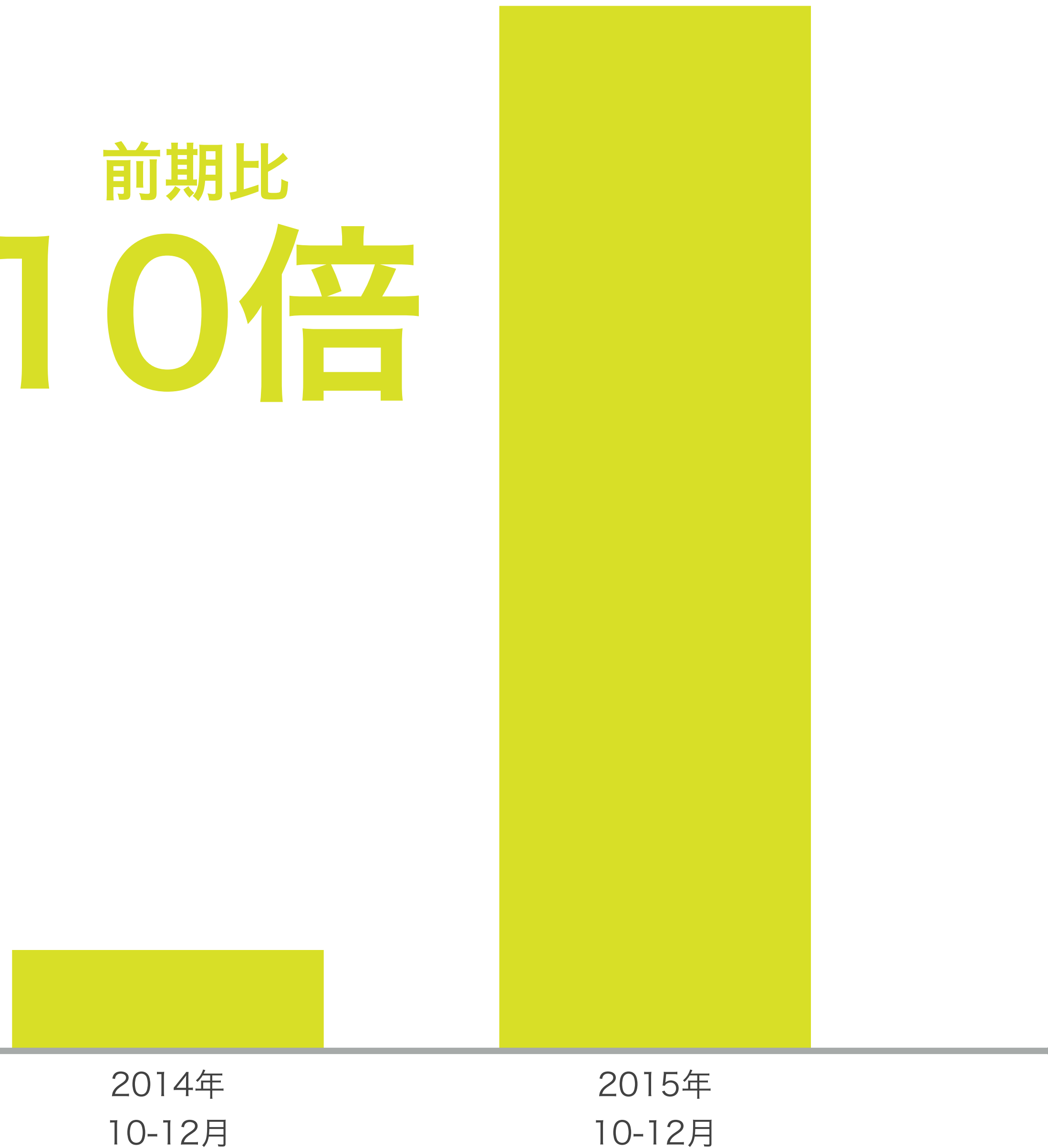
- 直販とモバイルにより急成長
- ZO Roomsを買収
- プレミアムサービスを開始

# トランスポートেশヨン



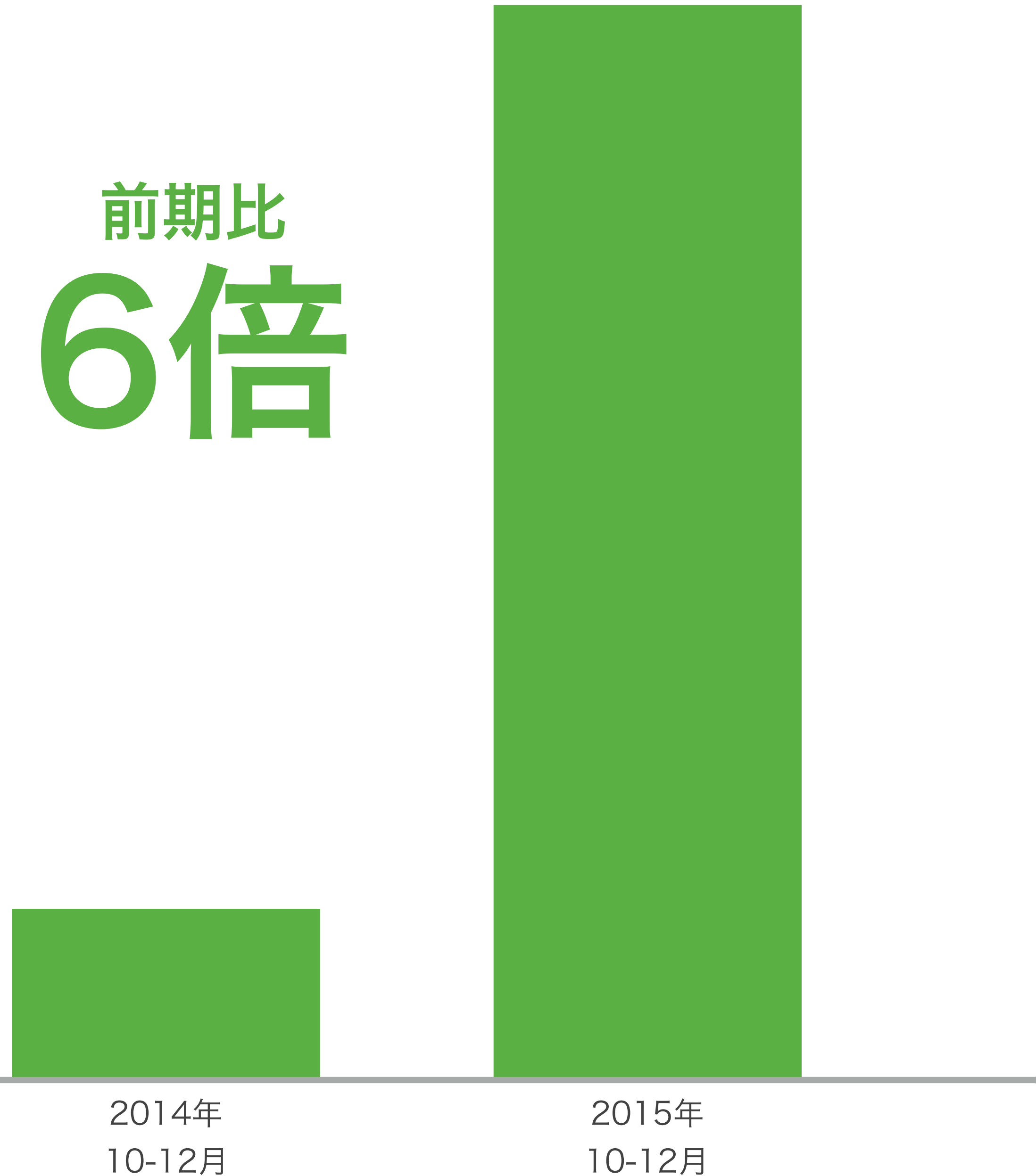


前期比  
**10倍**



- サービスを多様化
- Lyft、Didi、Grabと戦略的提携
- タクシーリースを開始

前期比  
**6倍**



- マーケットシェアが拡大
- サービスを多様化
- MAUが前年比6倍



KuaiDi Taxi



Didi Taxi

14億回 (2015年)

前期比

2.5倍



2014年  
12月

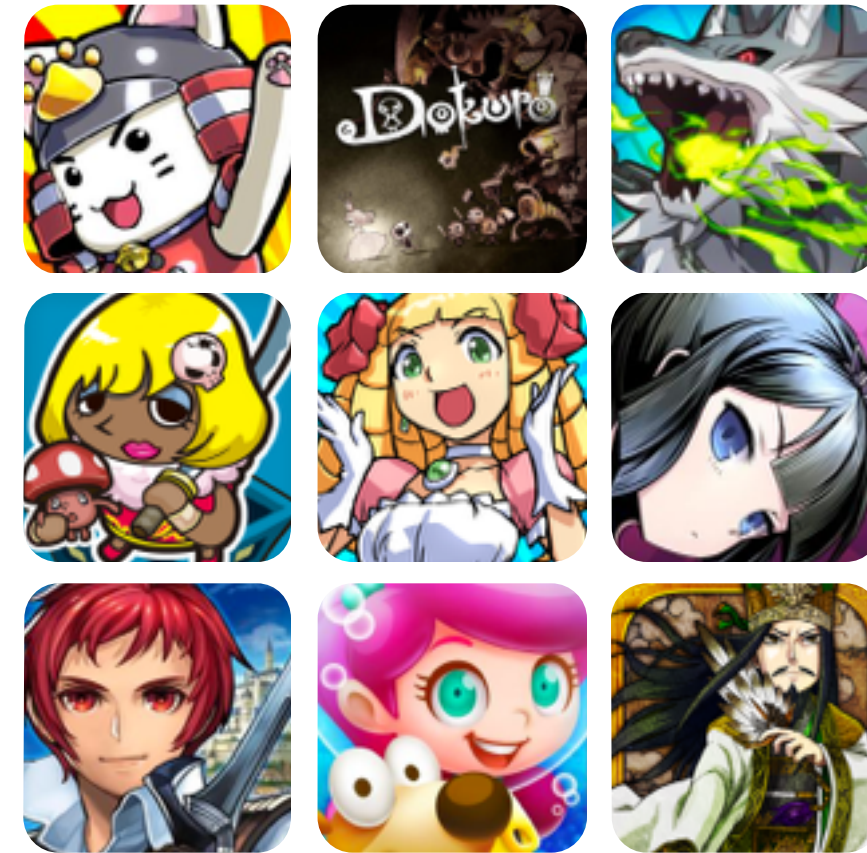


2015年  
12月

- 都市部で収益性が向上
- 新サービスで市場を牽引
- 規制に係る透明性が向上

# ゲーム





- 既存ゲーム価値の最大化
- 魅力的な新ゲームの創造
- 顧客基盤を世界に拡大

**SUP  
ERC  
ELL**



# フィンテック





前期比  
**4倍**

52億ドル

13億ドル



- ローンの新規貸出が加速
- 高い信用力(10万人の顧客基盤)
- 新しい金融商品に注力  
(資産管理/保険)

# ポートフォリオ

事業資産

投資資産



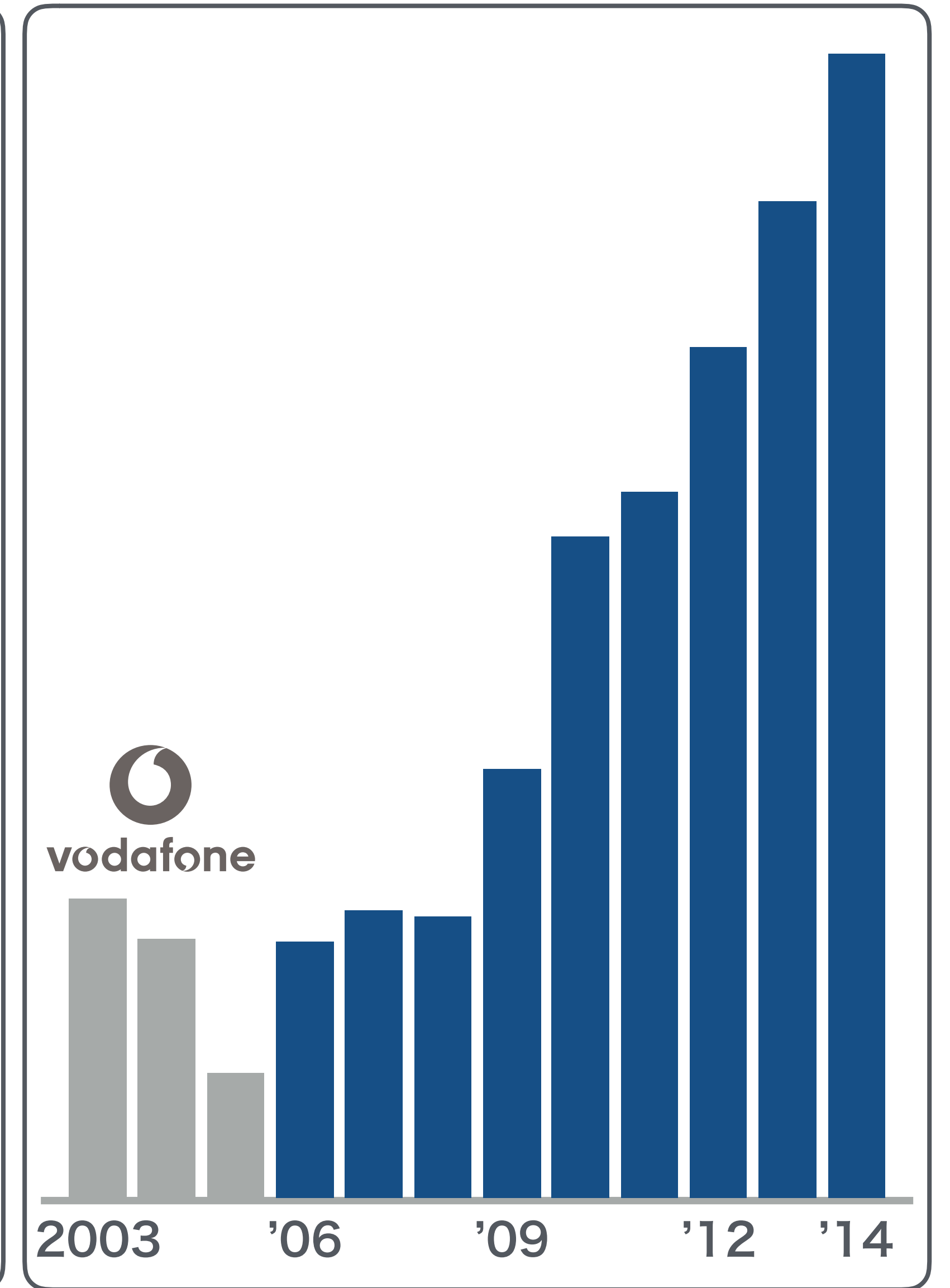
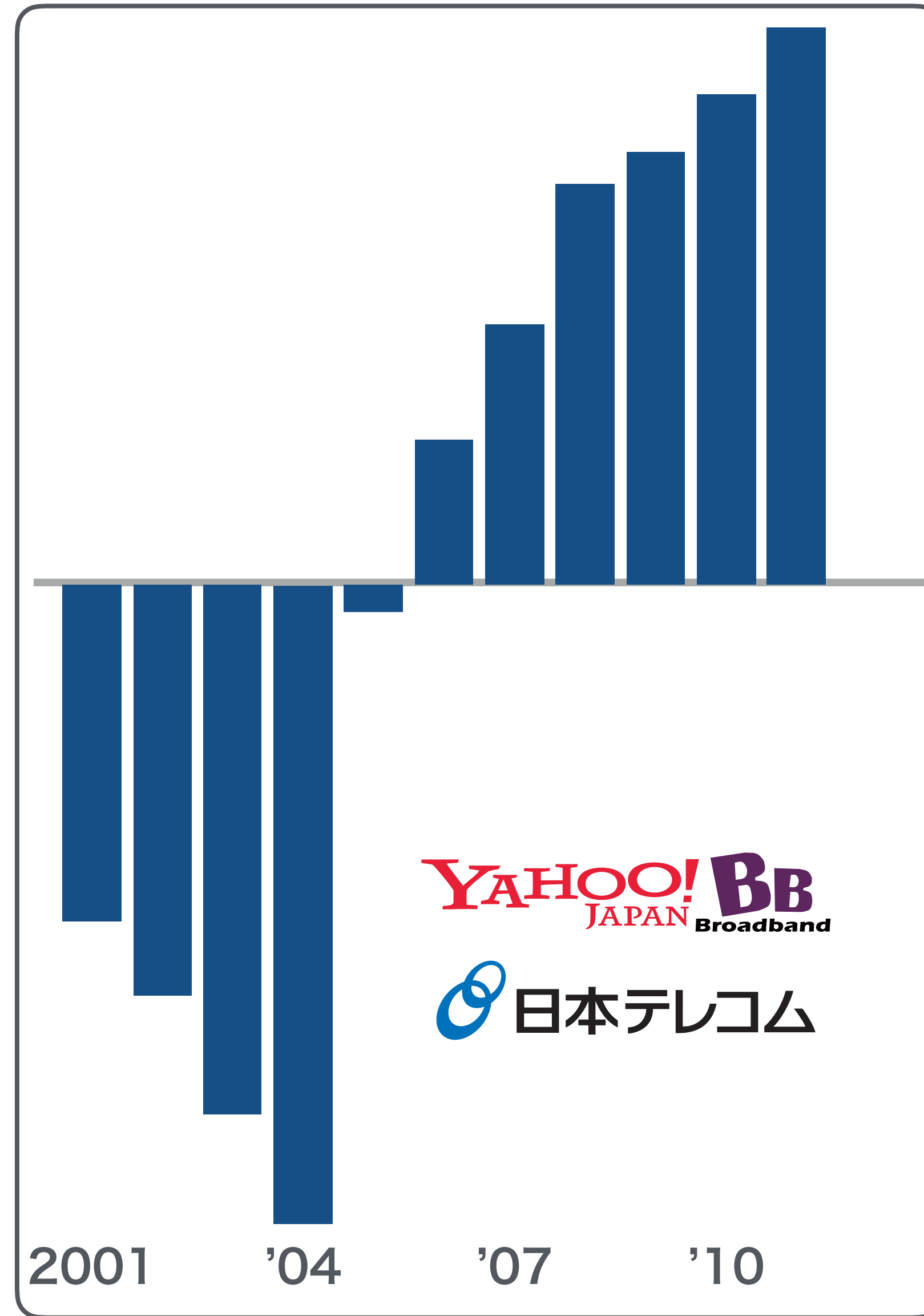
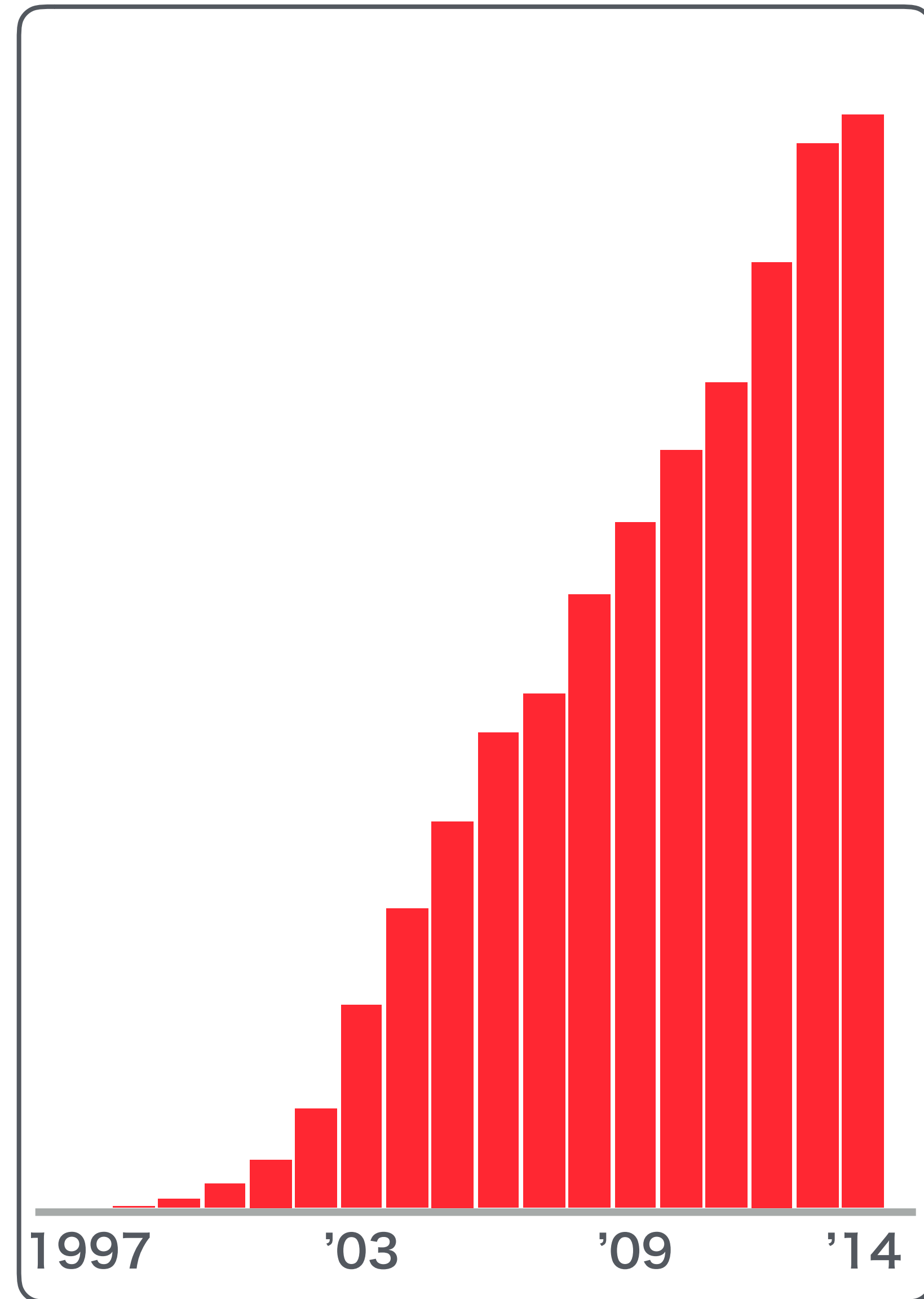
数々の困難を乗り越えてきた



純利益

SoftBank  
固定事業 営業利益

SoftBank  
モバイル営業利益



# 調整後EBITDA

95~100億ドル

77~80億ドル

57億ドル

48億ドル

51億ドル

57億ドル

60億ドル

2010 '11 '12 '13 '14 '15 '16 (年度)

予想 予想(概算)



# 反転への兆し

さらなる成長へ

 SoftBank  
Group

## 1. IFRSの適用について

2013年度よりIFRS（国際会計基準）を適用しています。2012年度についてもIFRSに準拠して表示しています。

## 2. 本資料中の用語の定義等について

フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支) : 営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

EBITDA(IFRS) : 売上高 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費 + 減価償却費及び償却費

EBITDA(日本基準) : 営業損益+減価償却費+のれん償却費

有利子負債(IFRS) : 借入金+社債+リース債務+割賦購入による未払金+コマーシャル・ペーパー+優先出資証券

有利子負債(日本基準) : 借入金+社債+コマーシャル・ペーパー。リース債務を含まず。

純有利子負債 : 有利子負債-手元流動性

## 3. 登録商標・商標について

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンクグループ株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。

本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

- iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。

- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。